

令和4年度地域運動部活動推進事業

休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	川崎市教育委員会（川崎市） 担当課：学校教育部健康教育課 電話番号：044-200-2880
------	---

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	52校	② 生徒数	30,016人	③ 部活動数	761部活
--------	-----	-------	---------	--------	-------

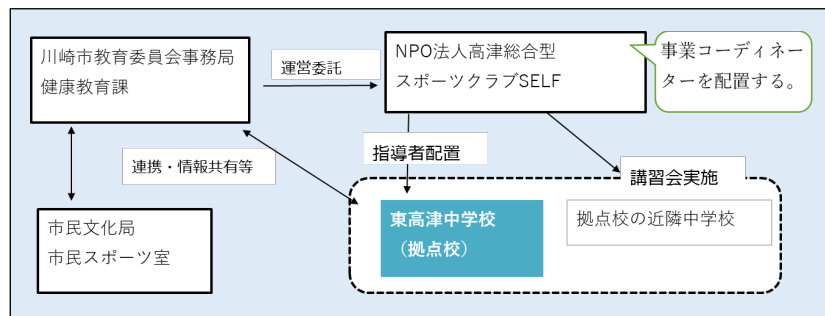
1.2 地域における現状・課題

- ・ 平日の部活動と休日の部活動の円滑な移行に向けて、学校教職員、生徒、保護者、運営団体との連携をどう深めていくか。
- ・ 休日の部活動に伴う費用負担（保護者負担）に関する考え方の整理と保護者負担への理解をどう深めていくか。

1.3 実践研究における取組目標

- ・ 拠点校を対象として、円滑に地域部活動を実施するために、昨年度に引き続き、学校管理下で行う休日の部活動へ、運営団体から外部指導者として指導者を派遣するとともに、月に1回以上、地域移行し、派遣されている指導者のみが指導にあたり部活動を運営することで、教員が指導にあたらなくてもよい環境を確保し、負担軽減と専門的な指導の充実を図り、教員の負担軽減効果や生徒の反応を確認する。また、指導者側から見た取組の課題を整理することを目標とする。
- ・ 拠点校と近隣校を対象として、休日の活動で1回以上を、参加費を徴収して合同の講習会を開催し、複数の学校の教員が指導にあたらなくてもよい環境を確保し、教員の負担軽減とより専門的な指導の充実を図り、部活動の費用負担の在り方について、実践校の保護者の意見等もふまえながら課題を整理することを目標とする。

1.4 実践研究の運営体制



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

- ・ 実践研究の拠点校においては、教育委員会、中学校長会代表、拠点校の管理職やPTA代表、有識者等に令和4年度からスポーツ関係部局を加えて構成する、地域運動部活動推進事業検討・運営会議を開催し、様々な立場から部活動の地域化に向けた取組について意見を聴取し、課題が多く複雑なため多面的な検討を行った。
- ・ 他都市へのヒアリングや視察を実施し、地域連携や地域移行の先進的な事例を参考とするとともに、体育系の大学へのヒアリング等で、地域移行の推進に向けた体制整備等について情報収集し、課題や今後の取り組みについての整理を行った。

3. 実践研究校における取組について

3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	川崎市内52中学校のうち、1校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	5部活
③ 種目	陸上競技、バドミントン、バスケットボール、剣道、卓球

《主な取組例（1）》…川崎市立東高津中学校

① 運営主体	特定非営利活動法人高津総合型スポーツクラブ SELF（以下SELF）		
② 種目	陸上競技部	③ 参加者数	44人
④ 活動日	土曜日又は日曜日	⑤ 活動場所	東高津中学校体育館
⑥ 指導者人数	2人	⑦ 謝金単価	1人あたり1,600円/時間
⑧ 指導者属性	市内中学校卒、市内陸上強豪校卒、教育学部と体育学科に在籍中の大学生2名を指導者として派遣		
⑨ 参加会費の有無・金額	なし		

《主な取組例（２）》…川崎市立東高津中学校、高津中学校、西高津中学校

①運営主体	SELF		
②種目	バドミントン	③参加者数	61人
④活動日	令和5年1月7日	⑤活動場所	東高津中学校体育館
⑥指導者人数	4人	⑦謝金単価	1人あたり4,000円/時間
⑧指導者属性	インターハイ、国体、インターカレッジ等の大会で活躍した社会人3名と大学生1名を指導者として派遣		
⑨参加会費の有無・金額	200円（合同講習会参加料）		

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

- ・ 生徒アンケートでは、休日部活動に地域指導者を派遣して指導した取り組みについては、「とてもよい」「どちらかといえばよい」で96.5%を占め、合同講習会の内容については、「満足」「ほぼ満足」で93.7%と生徒の満足度が高く、本事業について好意的に捕らえている生徒がほとんどであった。
- ・ 保護者アンケートでは、学校部活動を地域クラブ（教員ではなく地域指導者による）が担うことについて、「賛成」「どちらかといえば賛成」で96.9%という高水準の回答があり、合同講習会については、「とてもよい」52.9%、「まあよい」35.3%で、好意的にとらえている保護者が多く、合同講習会の参加費200円については、「満足」47.1%、「ほぼ満足」39.2%で、合計86.3%と多くの保護者の満足度が高かったことが分かったが、「やや不満」と答えた保護者が9.8%おり、「他に交通費がかかっているから」「部活動の一環なら無料にしてほしい」などの意見があった。また、仮に、子どもが地域クラブで月4回の活動をした場合の参加費（月謝）について、「500円～1,000円未満」15.7%、「1,000円～2,000円未満」25.5%、「2,000円～3,000円未満」17.6%、「3,000円～4,000円程度」13.7%という回答で、家庭によってばらつきのある結果となった。
- ・ 拠点校教員アンケートでは、休日の部活動に地域指導者を派遣して実施した本事業の実践について、「とてもよい」「どちらかといえばよい」で84.2%の回答があり、好意的に受け止めている教員が多いとともに、地域指導者を派遣してもらえる場合に「希望する」教員が78.9%と多くいることが分かった。
- ・ 実践部活動顧問教員からの意見では、本事業の効果として「休日に休みを多くとることができた」「技術的な細かい指導を地域指導者に任せることができた」「生徒の技術の向上に役立った」という回答が多く、「他の業務に取り組む時間ができた」「部活動指導に対する精神的な不安が軽減された」「多くの人数で指導することで安全管理を含めた細やかな指導ができた」という回答もあったため、本事業における多くの効果が認められる結果となった。しかし、学校施設の使用について、体育館の開閉、部室の鍵、用具の準備等に課題があるという意見もあった。（職員室に鍵がある、卓球台が校舎内にあるなど、教員の対応が必要であった）
- ・ 派遣した地域指導者のアンケートでは、「地域指導者として中学校の部活動を指導してみてどう思いましたか」の問いに、回答した指導者全員がとてもよかったと回答した。また、顧問教員と連携を取り、参加生徒の熱意もあって、とても指導しやすかったという意見があった。しかし、「指導回数や頻度が少ない」や、「指導者の講師料が少ない」などの意見もあった。

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- ・ 取組開始の前に、顧問教員と地域指導者との打ち合わせの中で、指導方針や練習内容等の計画について、しっかり連携し共有しておくことが必要で、いきなり地域指導者のみの活動はハードルが高いため、最初は顧問教員と連携し、地域指導者と生徒が顔見知りとなり慣れる時期が必要だったため、徐々に地域指導者の指導割合を増やしていくようにした。
- ・ 顧問教員と地域指導者の連絡手段が、部活動によって違っており、統一した効率的なコミュニケーションツール（携帯、LINE、チャットなど）があるとよいということが分かった。
- ・ 地域指導者に部活動を任せる時でも、教員が職員室にいて、万が一の事故やトラブルに備えていることが多かったが、複数顧問の場合、交代で週休日を取得することで、教員の負担軽減につなげることができた。
- ・ コーディネーターは顧問教員と地域指導者との連携を密にとり、計画や日程を守って活動することが必要で、本格実施となりコーディネーターを設置する場合、常勤者でないと務められないという状況であった。
- ・ 一般の施設を使うと場所・物を用意するのに、参加費を取ったとしても、4,000～5,000円でも足りないのので、各区の総合型スポーツクラブで学校施設を使用すれば安価でできるという意見があった。その点、今回の合同講習会は、総合型スポーツクラブが学校会場で実施したため、経費を抑えるためのモデルとなった。
- ・ 地域運動部活動推進事業検討・運営会議では、部活動の取り組みの継続で参加費を払うとなれば、それに見合った指導内容や指導者の質が求められ、それなりの指導者を確保・育成していかなければならないが、日本スポーツ協会の資格や、各スポーツ

団体の資格などを取得するには、時間やお金がかかり、地域指導者を目指す人の妨げとなっているため、初級的資格は、低価格でもう少し取得しやすくなる仕組みがあるとよいという意見があった。そのため、大学と連携して、授業単位と同時に初級指導者の資格を取得できるようにすれば、徐々に地域指導者として部活動を指導できる人材が増えていくので、人材確保の解決方法として、今後仕組みの構築について検討する。

- ・ 会費を支払っての活動となると、受益者負担額にもよるが、困窮家庭が地域クラブへ参加費を支払うことは困難と思われ、所属率が減ってしまうのではないかと懸念がある。放課後の時間に、何もやることのない生徒が地域にあふれてしまう危険性があるのではないかと意見もあり、継続して取り組まなければならない課題だと捉えている。

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

○休日の部活動指導に関する調査研究について

- ・ 地域指導者に休日の部活動指導を任せることで、実践部活の顧問教員が、週休日を多く取得することができた。
- ・ 地域指導者を派遣することで、専門的な指導ができ、生徒の技能向上につながるとともに、部活種目が専門外の顧問教員の心理的な負担軽減にもつながった。
- ・ 派遣された地域指導者が、やりがいを持って部活動指導に当たることができた。
- ・ 教育委員会、受託団体、学校、顧問、保護者、生徒をつなげ、連携をとって円滑な運営を進めるために、コーディネーターの役割が非常に重要であるということが分かった。

○部活動に関する費用負担に関する調査研究について

- ・ 合同講習会の実施において、指導者や内容について、参加生徒や保護者の満足度が高く、参加費 200 円程度での実施であれば、「安い」または「適正」と回答する生徒や保護者が多く、満足度が高かった。
- ・ 月 4 回の地域クラブの活動を想定した場合の参加費（月謝）については、家庭により適正金額の考えにばらつきがあることが分かり、種目、指導者の質、活動場所、家庭の状況によっても違いがあることから、参加費の適正金額の設定については引き続き課題と考えている。

4.2 地域移行における今後の課題と対応

<p>【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・地域関係者との連絡調整・指導助言等を行う総括コーディネーターの設置や、検証を行うことを目的とした協議会を設置予定（関係局、関係団体、学識経験者、学校関係者等） 	<p>【受け皿団体の確保方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の関係団体等（大学、地域クラブ、企業等）へのヒアリングを実施し、体制支援策の検討
<p>【指導者の確保方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ・文化団体等と連携した人材確保や民間活用、教員の兼職兼業の考え方の検討 ・ 大学と連携した指導者育成プログラム等の仕組み構築を検討 	<p>【困窮世帯への支援方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動に伴う保護者への負担についての考え方を整理し、負担割合（国・市・保護者）や困窮家庭への支援策の検討
<p>【地域移行の自走化に向けた方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会による検証と推進計画の策定（予定） ・ 施行実施の状況を踏まえた実践校の取り組み推進 ・ 持続可能な仕組みの構築 	<p>【地域特有の課題への対応策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践校を北部・中部・南部に設置するように拡大し、各地域のニーズや課題をアンケート等から把握・整理し、全市的な地域移行に備える。

令和4年度

地域運動部活動推進事業における成果報告書（川崎市）

川崎市教育委員会事務局

学校教育部 健康教育課

TEL 044-200-3321/2880

E-mail 88kenko@city.kawasaki.jp

目次

■自治体について	1
■拠点校について	2
■実践研究内容について	3
■実践研究成果（課題等）	5

■自治体について

1 基礎情報

自治体名：川崎市

人口：1,539,747人（令和5年2月現在）

面積：144.4 km²

人口密度：10,667人/km²

学校数：中学校52校

生徒数：29,972人（令和4年5月1日現在）

部活動入部率：

全体入部率	運動部	文化部
84.6%	62.4%	22.2%

2 スポーツ環境

施策等：「川崎市スポーツ推進計画」

（※所管：川崎市市民文化局市民スポーツ室）

スポーツ施設：スポーツセンター・アリーナ等 8か所

陸上競技場 2か所、サッカー場 5か所、テニスコート 6か所

野球場 15か所、少年野球場 16か所、プール 9か所 他

※中学校部活動においても、上記市内施設を大会や試合等で利用

総合型地域スポーツクラブ：12クラブ

プロスポーツチーム：川崎フロンターレ（サッカー）

川崎ブレイブサンダース（バスケットボール） など

※実業団を含め「かわさきスポーツパートナー」として

6チームを認定

※市内を拠点とした継続的な競技活動の実施ならびに、地域

活動の活性化につなげることを目的としたスポーツ団体を、

「スポーツアンバサダー」として3団体を認証

3 地域移行に向けて

計画等：部活動の地域移行に係る個別の計画はなし

（川崎市総合計画 第3期実施計画、かわさき教育プラン等に記載あり）

課題及び今後の方向性：国の動向を踏まえながら今後の取組を検討・実施していく。

■拠点校について

1 拠点校

川崎市立東高津中学校

神奈川県川崎市高津区末長4丁目1番地1号

教員数 41人 生徒数 553人 (R4.5.1現在)

高津区エリアの特徴：市内最大の総合型地域スポーツクラブの拠点

各種スポーツや運動を行える多摩川河川敷あり

2 部活動の状況

部活動数：運動部 10部 文化部 3部

部員数：運動部 327人 文化部 105人

3 実践部活動の部員数

部活動名	1年生		2年生		3年生		合計		
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	総数
バドミントン部	7	10	12	5	5	9	24	24	48
バスケットボール部	15	12	18	11	18	14	51	37	88
卓球部	23	0	13	3	6	0	42	3	45
剣道部	2	3	4	2	8	3	14	8	22
陸上部	11	5	8	8	5	7	24	20	44

■実践研究内容について

1 研究内容

○休日の部活動指導に関する調査研究

- ・拠点校の5部活（剣道、陸上競技、バドミントン、バスケットボール、卓球）を対象として、円滑に地域部活動を実施するために、昨年度に引き続き、学校管理下で行う休日の部活動へ、運営団体から外部指導者として指導者を派遣するとともに、月に1回以上、地域移行し、派遣されている指導者のみが指導にあたり部活動を運営することで、教員が指導にあたらなくてもよい環境を確保し、負担軽減と専門的な指導の充実を図り、教員の負担軽減効果や生徒の反応を確認する。また、指導者側から見た取組の課題を整理する。

○部活動に関する費用負担に関する調査研究

- ・拠点校等の3部活（陸上競技、バドミントン、バスケットボール）を対象として、休日の活動で1回以上を、参加費（200円）を徴収して近隣校との合同の講習会を開催し、複数の学校の教員が指導にあたらなくてもよい環境を確保し、教員の負担軽減とより専門的な指導の充実を図り、部活動の費用負担の在り方について、実践校の保護者の意見等もふまえながら課題を整理する。

2 運営・実施体制等

運 営：川崎市から運営団体に委託契約をして実施

運営団体：

（名称）特定非営利活動法人高津総合型スポーツクラブ SELF（以下 SELF）

（設立）2006年03月27日設立

（目的）多種目・多世代のスポーツ活動の推進を図るとともに、学校、地域、家庭との連携を図りつつ、スポーツを通して青少年の健全育成及び地域住民の健康の保持増進等を支援し、明るく豊かな地域社会の実現に寄与することを目的とする。

委託契約をした経緯：

委託団体として求められる条件として、以下の条件が挙げられる。

- ①学校の信頼を得て学校と連携・協力をしながら本事業を推進できる関係ができていること
- ②特定の種目だけではなく複数の運動種目の活動を提供できること
- ③学校や保護者、地域の状況をよく理解していること
- ④生徒を対象とした部活動の支援の実施などにおいて経験と実績があること
- ⑤地域人材を活用し本事業を進められること
- ⑥専門性や資質を有する指導者を確保することが可能であること

SELF は令和3年度に地域部活動推進事業の協力団体として参加の実

績があることから、継続して実践研究を行うことができるとともに、実践研究校の生徒、保護者、学校教職員が当該団体であれば安心であるといった声が寄せられていた。また、東高津中学校の施設管理業務を受託しており、学校施設管理運営に精通している団体であるとともに、東高津中学校区の坂戸小学校の地域の寺子屋事業も受託しているため、学校や保護者、地域の状況をよく理解している団体である。したがって、当該団体は受託に求められる条件を満たした団体であり、このような資質を備え、事業の受託が可能な団体が他になく、さらなる部活動改革の推進に伴う実践研究として、本事業の委託契約については、その目的及び性質から、当該団体と委託契約を行った。

指導者を派遣した部活動：

卓球、陸上、バスケットボール、剣道、バトミントン 計5部活

指導者への謝金： 1,600円/時間（毎月の休日部活動、各回3時間を基本）

4,000円/時間（講習会指導者）

1,040円/時間（講習会運営スタッフ）

指導者配置予定日数：24日/部活（毎月の休日部活動）

半日/部活（講習会）

活動場所：拠点校の校庭、体育館（毎月の休日部活動）

拠点校の体育館、近隣校（高津中学校）の校庭、体育館（講習会）

3 実施スケジュール

令和4年4月	事業開始に向けた打ち合わせ（東高津中学校、SELF） 教育委員会より拠点校の保護者へ説明
5月	合同講習会実施の近隣校への説明
6月	委託契約準備
7月	第1回地域運動部活動推進事業運営・検討会議（東高津中で開催） SELFと委託契約
9月	指導者派遣開始 剣道部テレビ取材
令和5年1月	合同講習会 合同講習会参加の生徒・保護者へのアンケート調査実施 実践部活動顧問へのヒアリング
2月	毎月の休日部活動の生徒・保護者へのアンケート調査実施 第2回地域運動部活動推進事業運営・検討会議（東高津中で開催） 指導者派遣終了

■ 実践研究成果と課題

1 指導者派遣実績

※令和5年2月28日時点

(1) 毎月の休日部活動への派遣

派遣人数と回数 (SELF から派遣)

部活動	地域指導者の人数	職業	派遣回数 (地域指導者のみ)	派遣 開始月	週休日の 取得回数*
バスケット ボール	3名	社会人(男)	3	9月	7 (顧問3名)
		社会人(男)	14 (7)	11月	
		社会人(女)	1 (1)	1月	
バドミントン	2名	社会人(男)	2 (2)	1月	3 (顧問3名)
		大学生(男)	8 (1)	10月	
卓球	3名	社会人(男)	3	9月	0 (顧問1名)
		大学生(男)	18 (2)	9月	
		大学生(男)	13 (2)	10月	
剣道	1名	社会人(女)	19 (5)	9月	12 (顧問2名)
陸上競技	2名	大学生(男)	16 (10)	9月	14 (顧問2名)
		大学生(男)	14 (10)	9月	

* 指導者の配置により顧問が週休日を取得できた回数 (日数) の合計

活動の様子



バドミントン部



陸上競技部



卓球部



剣道部

(2)合同講習会への派遣（SELF から派遣）

部活動	地域指導者の人数	職業	参加生徒数
女子バスケットボール	8名	社会人（男）1名 社会人（女）7名	東高津4、高津0 西高津10、計14名
男子バスケットボール	11名	富士通バスケットボール部	東高津3、高津7 西高津1、計11名
バドミントン	4名	社会人（男）3名 大学生（男）1名	東高津29、高津2 西高津30、計61名
陸上競技	2名	大学生(男)2名	東高津12、高津4 西高津12、計28名

全種目合計：114名

活動の様子



バドミントン部



女子バスケットボール部



男子バスケットボール部

陸上競技部



2 予算執行状況

【契約の流れ】

- ①スポーツ庁→株式会社ランドブレイン 委託契約
- ②株式会社ランドブレイン→川崎市 再委託契約
- ③川崎市→SELF 再々委託契約

【執行状況】

再委託契約金額 1,798,341 円

再々委託契約金額 1,500,400 円

執行額（総額） 1,429,465 円

【直接経費】

項目	予算額	支出済額	備考
検討・運営会議委員謝礼	112,000 円	19,200 円	
計	112,000 円	19,200 円	

【委託経費】

項目	予算額	実施額	備考
川崎市からの委託費	1,500,400 円	1,429,465 円	執行額と同額予定
計	1,500,400 円	1,429,465 円	

【支出】

項目	内 訳	予算額	実施額	備考
報償費	諸謝金	1,040,000 円	1,041,400 円	
需用費	消耗品費		30,779 円	
需用費	印刷製本費		67,380 円	
役務費	通信運搬費	50,000 円		
役務費	雑役務費	50,000 円		
役務費	保険料	100,000 円	60,000 円	
	消費税相当額	136,400 円	131,951 円	
	一般管理費	124,000 円	119,955 円	
	収入額（参加費）	22,000 円	22,000 円	
	計	1,500,400 円	1,429,465 円	

3 成果と課題

○毎月の休日部活動指導に関する調査研究

取組

- ・SELF より外部指導者を派遣
→派遣回数等は、5ページの「1(1) 毎月の休日部活動への派遣」を参照
- ・生徒や保護者の反応の確認
→ [教員・生徒・保護者にアンケートを実施] 別紙1 別紙2を参照
- ・地域運動部活動推進事業の取り組みについて
→ [拠点校（東高津中）実践部活の顧問にヒアリングを実施、拠点校教員にアンケートを実施] 別紙3を参照
- ・地域運動部活動推進事業検討・運営会での協議
- ・受託団体が、[派遣した地域指導者を対象にアンケートを実施]

成果

◎生徒アンケートから

- ・地域クラブに所属している生徒が一定数いることがわかった。（バドミントン、卓球、水泳、書道、ドラム、ピアノ、硬式テニス他）。
- ・休日部活動に地域指導者を派遣して指導した取り組みについては、「とてもよい」「どちらかといえばよい」で96.5%を占め、本事業について好意的に捕らえている生徒がほとんどであった。
- ・部活動の指導体制については「学校の顧問教諭と地域指導者が一緒に指導」を求めている生徒が84.2%と多くいることが分かった。

◎保護者アンケートから

- ・子どもが地域クラブへの所属を希望した場合、「賛成」「どちらかといえば賛成」が70.6%で「どちらかといえば反対」が29.4%という結果であった。
- ・「賛成」の理由として、「子どもがやりたい活動ができるように考えたい」や「子どもの思いを最優先に考えたい」など、子どもの意見や気持ちを尊重するという保護者が多かった。
- ・学校部活動を地域クラブ（教員ではなく地域指導者による）が担うことについて、「賛成」「どちらかといえば賛成」で96.9%という高水準の回答であった。
- ・学校部活動を地域クラブが担うことについて期待されることは、「専門的な指導が受けられる」が特に多かった。

◎教員アンケートから

- ・休日の部活動に地域指導者を派遣して実施した本事業の実践について、「とてもよい」「どちらかといえばよい」を合わせて84.2%で、好意的に受け止めている教員が多いことが分かった。
- ・地域指導者を派遣してもらえる場合に「希望する」教員が78.9%と多くいることが分かった。
- ・地域クラブが指導する取組が進んだ場合の教員の考えとして、「地域クラブに全

て任せたい」が47.4%いることが分かった。

- ・実践5部活の教員は本事業の効果として「休日に休みを多くとることができた」「技術的な細かい指導を地域指導者に任せることができた」「生徒の技術の向上に役立った」の回答が多かったが、「他の業務に取り組む時間ができた」「部活動指導に対する精神的な不安が軽減された」「多くの人数で指導することで安全管理を含めた細やかな指導ができた」も半数の教員が回答しており、多くの効果があったことが分かった。

◎実践部活動顧問のヒアリングから

- ・地域指導者がいることで顧問の負担軽減につながっており、指導の専門性も高く、生徒の上達にもつながっている。
- ・土日に休めることで、娘の運動会に参加できたという意見があった。
- ・多くの回数、地域指導者に指導してもらって、かなりの負担軽減になり、休めてよかったという意見があった。
- ・自分が陸上競技専門ではないので、専門的な指導をしてもらって助かったという意見があった。
- ・11月の土日は、1日しか部活動指導に来ておらず、休みを多くとれたという意見があった。
- ・地域指導者のみで指導する休日は、部員の当日欠席を、ミマモルメ（保護者との共有メール）を活用し顧問にメールしてもらい、地域指導者と共有していたので、うまく対応できたという意見があった。

◎地域運動部活動推進事業検討・運営会議から

- ・取組開始の前に、顧問教員と地域指導者との打ち合わせの中で、指導方針や練習内容等の計画について、しっかり連携し共有しておくことが必要ということが分かった。その際に、コミュニケーションツール（携帯、LINE、チャットなど）があるとスムーズという意見があった。
- ・地域指導者に部活動を任せたいと思っている教員が半分程度はいることから、部活動を負担に思っている教員の働き方改革の成功事例となる取組ができた。
- ・地域指導者に部活動を任せる時でも、教員が職員室にいて、万が一の事故やトラブルに備えていることが多かったが、2人顧問の場合、交代で週休日を取得することができた。また、いきなり地域指導者のみの活動はハードルが高く、最初は顧問教員と連携しながら徐々に地域指導者の指導割合を増やしていくことがよいということが分かった。

◎派遣した地域指導者のアンケートから

※「地域指導者として中学校の部活動を指導してみてどう思いましたか」の問いでは、回答した指導者全員がとてもよかったと回答した。

- ・多くの人に関わることができた。
- ・来年度部活動を持つ上で良い経験になった。（4月から教員になります）
- ・稽古方法・技術の習得など一方的ではなく、生徒達が話し合いながら進行してい

た。

- ・指導説明をしっかりと学ぶ姿勢があり、自ら向上しようとする生徒が多かった。
- ・先生との連携、参加生徒さんの熱意、とてもやりやすく指導させてもらいました！
- ・自分の指導で中学生の上達が見られたから。
- ・私が中学生の時から良くしていただいた顧問教員ということもあり、卓球に関する考え方や指導方法が一致する場面が多く、指導しやすかった。
- ・顧問とは、常に連絡を取りながら部活動を進めました。
- ・平日のメニューの提案などをすることができた。

課題

●生徒アンケートから

- ・現在、所属している学校部活動と同じ種目が地域クラブにあったとしても、83.0%の生徒が学校部活動に所属したいと思っており、逆に地域クラブに所属したいと思っている生徒が9.4%いることが分かった。
- ・現在、取り組んでいる種目以外にも、多様な種目に取り組みたいという生徒のニーズがあり、やってみたい種目の活動ができる地域クラブがあれば、参加したいと思っている生徒が59.0%いることが分かった。

●保護者アンケートから

- ・学校部活動を地域クラブが担う場合の活動日数について、週1日が27.6%、週2日が13.8%、週3日が31%、週4日が13.8%、週5日が13.8%とばらつきがある結果となった。土日だけなのか、平日も想定しているのかで活動日数がばらついた可能性がある。
- ・学校部活動を地域クラブが担う場合の活動時間について、2時間が71.4%と多く、次いで3時間の14.3%が多かった。こちらも土日なのか、平日なのかによって違ってくる可能性があるが、あまり長時間の活動は望んでいないことが伺える。
- ・毎月の費用負担額については、1,000円未満が7件、1,000円が7件、2,000円が6件、3,000円が4件と多かったが、「支払いたくない」や「5,000円以上なら習い事として可能」などの意見もあった。
- ・学校部活動を地域クラブが担うことについて、心配な点は、「活動場所まで子ども自身が移動すること」「活動場所まで保護者が送迎すること」「活動費用の負担」他校生徒の人間関係」など、多岐にわたった。「先生方の負担が軽くなる事は賛成だが地域クラブが担うのであれば全て担った方が望ましい。指導者が複数いると子どもが混乱する。モチベーションも下がっている気がする。先生か、地域クラブかできれば統一して指導してもらえることが望ましい」という意見もあった。

●教員アンケートから

- ・休日の部活動に地域指導者を派遣して実施した本事業の実践について、「わからない」と答えた教員が10.5%いた。

- ・地域指導者を派遣してもらえる場合に「希望しない」「人柄等による」と回答した教員が20%弱いることが分かった。
- ・教員の考えとして、地域クラブが指導する取組が進んだ場合、「地域クラブに全て任せたい」が47.4%の回答がありましたが、一方で、「地域クラブと一緒に指導したい」が21.1%、「地域クラブと分担して指導したい」が21.1%、「地域クラブには任せず、教員が顧問として指導したい」が約5%で、引き続き部活動を指導したいという教員が合わせて約47%おり、「地域クラブに全て任せたい」とほぼ同数の回答がありました。
- ・部活動の地域移行の課題として、「受け皿となる地域クラブやスポーツ団体の確保」「怪我やトラブルの対応」「人材バンク等で専門性や資質を有する指導者の育成と確保」「生徒の多様なニーズに合った活動」などを重要な課題としてとらえている教員が多かった。

●実践部活動顧問のヒアリングから

- ・地域指導者が怪我（腰痛）で来られない時期があった。そういった場合の対応は課題。代替りの指導者が来られる体制が必要。
- ・部室の鍵について課題がある。（職員室に鍵があるので教員がいないと渡せない）
- ・怪我をした時の対応フローチャートがあるとよい。

※フローチャートについて市から受託団体（SELF）に示しているの、地域指導者と顧問に共有されていないことは課題である。

- ・部活動を全て地域指導者に任せている時も、顧問は基本には職員室にいて、別の仕事をしていた。時間的に有効活用はできたが、剣道部と同じように、鍵の問題もあるし、何かあった時の対応が心配だったのでそのような対応となった。
- ・大学生2名だと何かあった時の対応がどうしても不安
- ・保護者の連絡先を、地域指導者が指導中に持っていない状況があり、欠席連絡を含め、保護者と連絡のやり取りをするのに、どうしても顧問が必要だと感じた。
- ・卓球台が校舎内にあるため、準備片付けの際に、顧問がいないと対応できない。
- ・地域指導者と顧問が連絡を取り合うときは携帯が多くなるが、その場合は自腹となるのか。業務なのかどうなのか微妙な感じがする。

※各家庭から事前に貰っている承諾書の緊急連絡先については、必ず地域指導者が指導中に持っている必要があるの、当日の欠席連絡を含めて受託団体（SELF）の課題である。

- ・女子部に10月まで月に1～2回地域指導者が来ていたが、途中から人数が変わった。地域指導者の都合なのかもしれないが、受託団体（SELF）と地域指導者との連携がうまくできていないように感じた。
- ・体育館部活の活動場所割りでは、地域指導者の予定を事前にももらえればもっとスムーズにできると思う。予定をもらうのが遅かったり、急な変更があったりするとやりづらい。

※受託団体（SELF）は地域指導者と学校顧問との連携を密に行い、各部の月の活動

予定表については、前の月に調整してまとめ、示せるようにしておく必要がある。

●地域運動部活動推進事業検討・運営会議から

- ・顧問教員と地域指導者の連絡手段が、部活動同によって違った。統一した効率的なコミュニケーションツールがあるとよい。
- ・中学校の部活動の視点を変えて整理しないといけない。子どもの活動がスムーズに進められるようにサポートするのが指導者の役目なので、校長会や中学校体育連盟と連携し、受け皿団体が少ない中で徐々に地域移行のモデル校を広げていくことが大事である。
- ・実施してみて分かったが、休日の部活動を顧問教員抜きでいきなり行うのはハードルが高い。地域指導者と生徒が顔見知りとなり、慣れる時期が必要。
- ・コーディネーターは顧問教員と地域指導者との連携を密にとり、計画や日程を守って活動することが必要。本格実施となり、コーディネートを任せるとなると、常勤者でないと務められない。
- ・受け皿団体が少ないことや、指導者の確保・育成は、昨年度からの継続課題で、今後継続して取り組んでいかなければいけない大きな課題。

●派遣した地域指導者のアンケートから

- ・指導回数や頻度が少ない。
- ・けがやトラブルの際の対応
- ・施設の施設や用具の使用
- ・保護者への対応
- ・生徒の出欠席の把握
- ・予定変更の際の連絡方法
- ・大会への参加や引率
- ・指導者の講師料が少ない。
- ・顧問の立場とは違い、生徒たちが信頼して受け止めてくれるのか、活動中に何かあったらどうするのか？
- ・現状の部活動では、学校や活動内容によって、顧問先生が専門かそうでないかで差が出てしまい、生徒が可哀想だと感じます。
- ・完全な地域移行ではなく、学校の先生は希望制で部活動の顧問をすると良いと思う。

○部活動に関する費用負担に関する調査研究

取組

- ・費用負担（参加費 200 円）による合同講習会を実施し SELF から外部指導者を派遣
→詳細は、6 ページの「1 (2) 合同講習会への派遣」を参照
- ・生徒や保護者の反応の確認
→ [生徒・保護者にアンケートを実施] 別紙 5 別紙 6 を参照
- ・地域運動部活動推進事業検討・運営会での協議

成果

◎生徒アンケートから

- ・合同講習会の内容について、「満足」70.8%、「ほぼ満足」22.9%で、合わせて 93.7%と生徒の満足度が高かったことがわかる。
- ・合同講習会の指導者について、「満足」87.5%、「ほぼ満足」10.4%で、合わせて 97.9%と生徒の満足度が高かったことがわかる。
- ・合同講習会の参加費 200 円については、「安い」20.8%、「適正」66.7%という結果であった。

◎保護者アンケートから

- ・合同講習会について、「とてもよい」52.9%、「まあよい」35.3%で、好意的にとらえている保護者が多いことがわかった。
- ・合同講習会の参加費 200 円については、「満足」47.1%、「ほぼ満足」39.2%で、合わせて 86.3%と保護者の満足度が高かったことが分かった。
- ・子どもが地域クラブに所属することを希望した場合について、「賛成である」39.2%、「どちらかといえば賛成である」47.1%で、合わせて 86.3%の保護者が子どもの希望通りに賛成するという結果であり、「専門的な指導を受けることができるから」「他校の生徒と切磋琢磨できるから」「他校の生徒と人間関係がつくれるから」「子どもが所属を希望しているから」という理由が多かった。
- ・学校部活動を地域クラブ（地域の指導者や指導を希望する中学教員など）が担うことについて、「賛成である」39.2%、「どちらかといえば賛成である」43.1%で、合わせて 82.3%の保護者が賛成している結果であった。

◎地域運動部活動推進事業検討・運営会議から

- ・一般の施設を使うと場所・物を用意するのに、参加費を取ったとしても、4,000～5,000 円でも足りないと思うので、各区の総合型スポーツクラブで学校施設を使用すれば安価でできるという意見があった。その点、今回の合同講習会は、総合型スポーツクラブが学校会場で実施したため、経費を抑えるためのモデルとなった。

課題

●生徒アンケートから

- ・参加費 200 円について「高い」と回答した生徒が 10.4%という結果だった。
- ・現在所属している学校部活動と同様の活動ができる地域クラブがあった場合、どちらを選ぶかについて、「学校部活動」52.1%、「条件によって選ぶ」45.8%で、地域部活動を選ぶ生徒が少ないことが分かった。
- ・「学校部活動」と答えた理由は、「同じ中学校の仲間と一緒にできるから」「授業後すぐに活動を始めることができるから」「活動場所までの移動がないから」「参加費がない（または安い）から」という回答が多かった。
- ・「条件によって選ぶ」と答えた理由は、「指導者の専門性によって」「活動場所によって」「活動頻度によって」「参加費の金額によって」という回答が多かった。
- ・地域クラブで月 4 回程度の活動の場合の参加費（月謝）について、「500 円～1,000 円未満」31.3%、「1,000 円～2,000 円未満」29.2%と多かった。

●保護者アンケートから

- ・合同講習会の参加費 200 円については、「やや不満」と答えた保護者が 9.8%おり、「他に交通費がかかっているから」「部活動の一環なら無料にしてほしい」などの意見があった。
- ・子どもが地域クラブに所属することを希望した場合について、「どちらかといえば反対である」11.8%、「反対である」1.9%で、合わせて 13.7%の保護者が反対しており、「活動の費用負担があるから」「大会が学校部活動と異なるから」「活動場所までの送迎があるから」などの意見があった。
- ・仮に、子どもが地域クラブに参加する場合、「活動場所によって」「指導者の専門性によって」「参加費の金額によって」「活動頻度によって」という条件を重要だと考えている保護者が多いことが分かった。
- ・仮に、子どもが地域クラブで月 4 回の活動をした場合の参加費（月謝）について、「500 円～1,000 円未満」15.7%、「1,000 円～2,000 円未満」25.5%、「2,000 円～3,000 円未満」17.6%、「3,000 円～4000 円程度」13.7%で、ばらつきのある結果となった。
- ・学校部活動を地域クラブ（地域の指導者や指導を希望する中学教員など）が担うことについて、「どちらかといえば反対である」や「その他」で疑問を持っている保護者も少なからずおり、「その場合所属はどうなるのか」「部活動ではかからない費用が掛かると負担」などの意見があった。

●地域運動部活動推進事業検討・運営会議から

- ・部活動の取り組みの継続で参加費を払うとなれば、それに見合った指導内容や指導者の質が求められる。
- ・参加費を取るなら、それなりの指導者を確保・育成していかなければならないが、日本スポーツ協会の資格や、各スポーツ団体の資格などを取得するには、時間やお金がかかり、地域指導者を目指す人の妨げとなっている。初級的資格は、低価

格でもう少し取得しやすくなるとよいと思う。指導者を継続したい、スキルを上げたいという人は、自分で資格のレベルを上げて取得していける制度の構築が必要。大学と連携して、授業単位と同時に初級指導者の資格を取得できるように連携すれば、徐々に指導できる人材が増えていくのではないかな。

- ・会費を取っての活動となると、所属率が減ってしまうのではないかな。給食費を払わない家庭が、地域クラブへの参加費を払うことは困難と思われる。放課後の時間に、何もやることのない生徒が地域にあふれてしまう危険性がある。

3 次年度の取組に向けて

SELF との委託契約で 8 月から派遣事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で 9 月からの実施となり、さらに生徒が地域指導者に慣れるための準備期間を要したことから、地域指導者のみでの派遣回数が当初の予定よりも少なくなっているのが現状である。

今年度の取組の成果や課題を踏まえて、休日の部活動の円滑な地域移行と継続性のある取組の実践に向けて、次年度は、関係部署、関係団体、有識者等で構成する協議会を立ち上げ、実践校を増やすとともに、文化部活動での実践も行い、地域部活動推進事業の取り組みをより推進していく予定である。

次年度の主な取組

- ①協議会の設置
- ②モデル校での実践拡大（文化部活動でも実施）
- ③推進計画の基本的な考え方の策定
- ④部活動経費の受益者負担の考え方策定
- ⑤部活動に係る方針の改訂
- ⑥大会参加規定の見直し検討

主な支援内容

- ①コーディネーター配置支援等体制整備
- ②運営団体・実施主体の整備充実
- ③指導者配置支援等体制整備等

【成果報告書提出に係る記載項目について（まとめ）】

① 地域移行を推進する体制の構築について

地域運動部活動推進事業検討・運営会議を開催し、様々な立場の方から地域化に向けた取組について意見を聴取したが、課題が多く複雑であり、多面的な検討が必要である。今年度は、教育委員会事務局が中心となり、スポーツ部局とも連携をして取組を行ったが、次年度は、関係部署、関係団体、有識者等で構成する協議会を立ち上げ、文化部活動での実践も行い、取り組みをより推進していく予定である。特に、運営を担う受け皿の団体や指導者人材の不足は深刻であり、将来的に受け皿となりえる団体等の関係所管課を巻き込んだ議論が必要である。

② 事業の推進にあたり必要な支援等について

学校は、生徒・保護者との信頼関係の下で学校教育活動が成り立っており、本取組を実践することで、保護者の信頼関係を損ねることを危惧していたが、2年間の実践研究では、保護者からおおむね前向きな捉え方をした回答が得られている。ただし、受益者負担の金額によって、各家庭の負担の不均衡による保護者の不満や、地域部活動に参画する人材についての質的な要求が増すことが想定されるので、運営団体・実施主体の整備充実や指導者配置支援等体制整備等の支援を行っていききたい。今年度は、受託団体にコーディネーターを設置し取組を実践したが、教育委員会事務局、学校（顧問教員）、地域指導者や保護者を繋ぐ役割として、コーディネーターが非常に重要な役割を担うこととなり、その人材の確保・育成や体制整備が必要であることから、コーディネーター配置支援等体制整備が必要と考える。

③ 今後の課題解決について

- ・課題解決に向けては、設置予定の協議会でその解決に向けた取組を検討していくとともに、実践モデル校を増加させることから、モデル校の実情に応じた体制整備や支援を実施していく。
- ・受益者負担については、保護者へのアンケート等を、モデル校や市内中学校に拡大して実施し、他都市の事例も参考にしながら、保護者が容認できる負担額について検討を進める。
- ・運営団体や指導者の確保については、受け皿となり得る団体（スポーツ・文化ともに）へのヒアリングを継続して実施し、運営団体や指導者の確保に努める。

④ 他の地域や複数校での実施に向けて

他の地域や複数校での実施に向けては、校長会と連携しながら、運動部活動で4校程度、文化部活動で6校程度に拡大予定なので、令和3年・4年に拠点校として東高津中学校で実践した事を活かし、成果、好事例を積極的に新たな実践校の保護者へ周知し、生徒・保護者への説明を丁寧に行い、理解が得ながら実践していきたい。

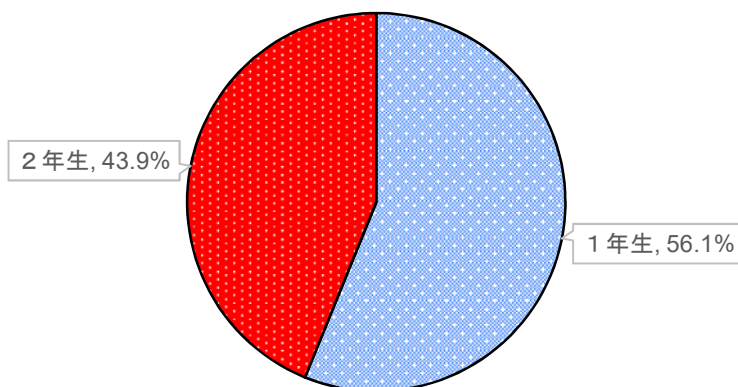
⑤ 令和4年度活動実績やアンケートからのアウトプット

- ・部活動の指導体制については「学校の顧問教諭と地域指導者が一緒に指導」を求めている生徒が85.5%と多くいることが分かった。
- ・生徒が地域クラブに所属することについて、「条件によって選ぶ」と答えた理由として、「指導者の専門性によって」「活動場所によって」「活動頻度によって」「参加費の金額によって」という回答が多く、参加費の金額と地域クラブの運営体制や指導者の質等のバランスを総合的に考えて選択しようとしていることが分かった。
- ・拠点校の保護者アンケートでは、学校部活動を地域クラブ（教員ではなく地域指導者による）が担うことについて、「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせて96.7%という高水準の回答があり、部活動の地域移行について好意的に捉え、賛成している保護者が多いことが分かった。
- ・拠点校の教員へのアンケートでは、自分の担当する部活動に地域指導者を派遣してもらえる場合に「希望する」教員が78.9%と多くいることが分かり、地域クラブが指導する取組が進んだ場合の教員の考えとして、「地域クラブに全て任せたい」と考えている顧問教員が47.4%と約半数いることが分かった。

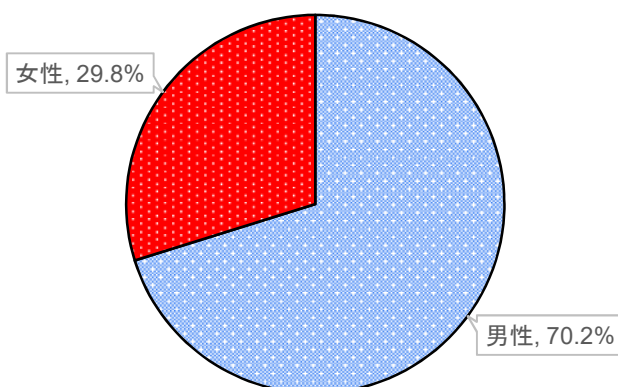
※次年度以降、拡大する実践校や市内全中学校へのアンケート調査を実施し、関係者・関係団体のニーズ把握をして地域部活動の推進に活かしていきたいと考えている。

部活動の休日の段階的な地域移行アンケート（生徒用）の集計結果

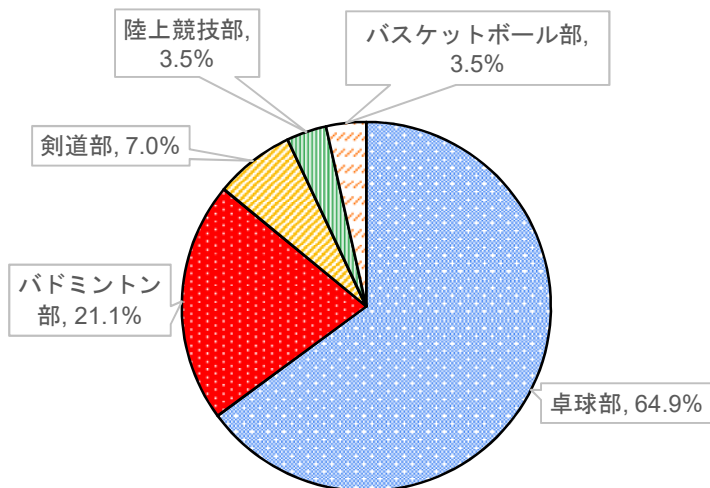
質問 1 学年をお答えください。



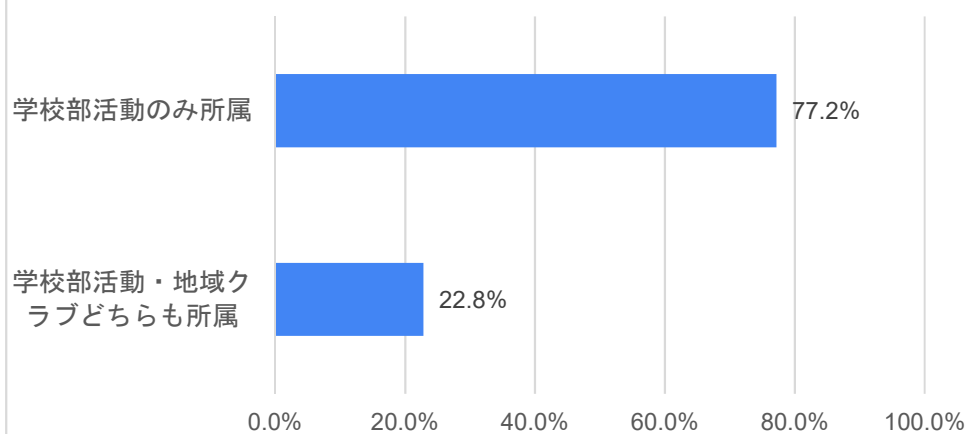
質問 2 性別をお答えください。



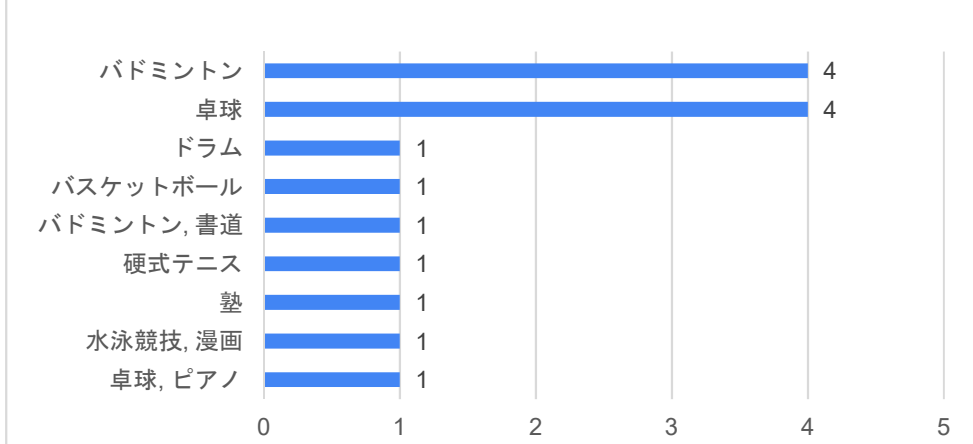
質問 3 所属部活動をお答えください。



質問4 現在、所属している学校部活動または地域のクラブについてお答えください。



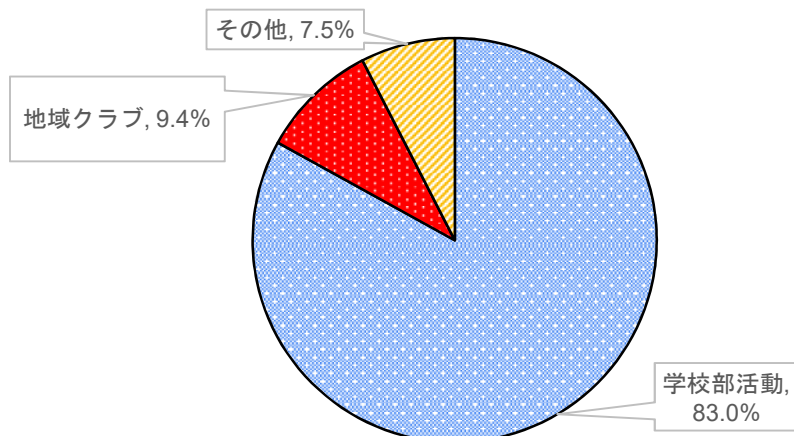
質問5 地域クラブに所属している人は、現在、どの種目に取り組んでいますか。



質問6 現在所属している地域クラブで毎月支払っている費用負担額を教えてください。※費用とは講習料に当たるものとします。(用具類は含めない)

地域クラブ	負担額
卓球	12,200円
ドラム	分かりません
卓球, ピアノ	月謝 (8,000円ほど)
水泳競技, 漫画	わからない
卓球	600円
硬式テニス	わかりません
卓球	16,000円
卓球	600円
バドミントン	約1,800円
バドミントン	470円
バドミントン	毎月ではなく一年間で5000円
バドミントン, 書道	バドミントン月600円、年5,000円、習字…知らないです
バドミントン	800円～, 200円

質問7 現在、所属している学校部活動と同様の活動ができる地域クラブがあった場合、どちらを選択しますか。（例：学校にバスケットボール部があるが、地域にもバスケットボールクラブがある場合）



その他の回答

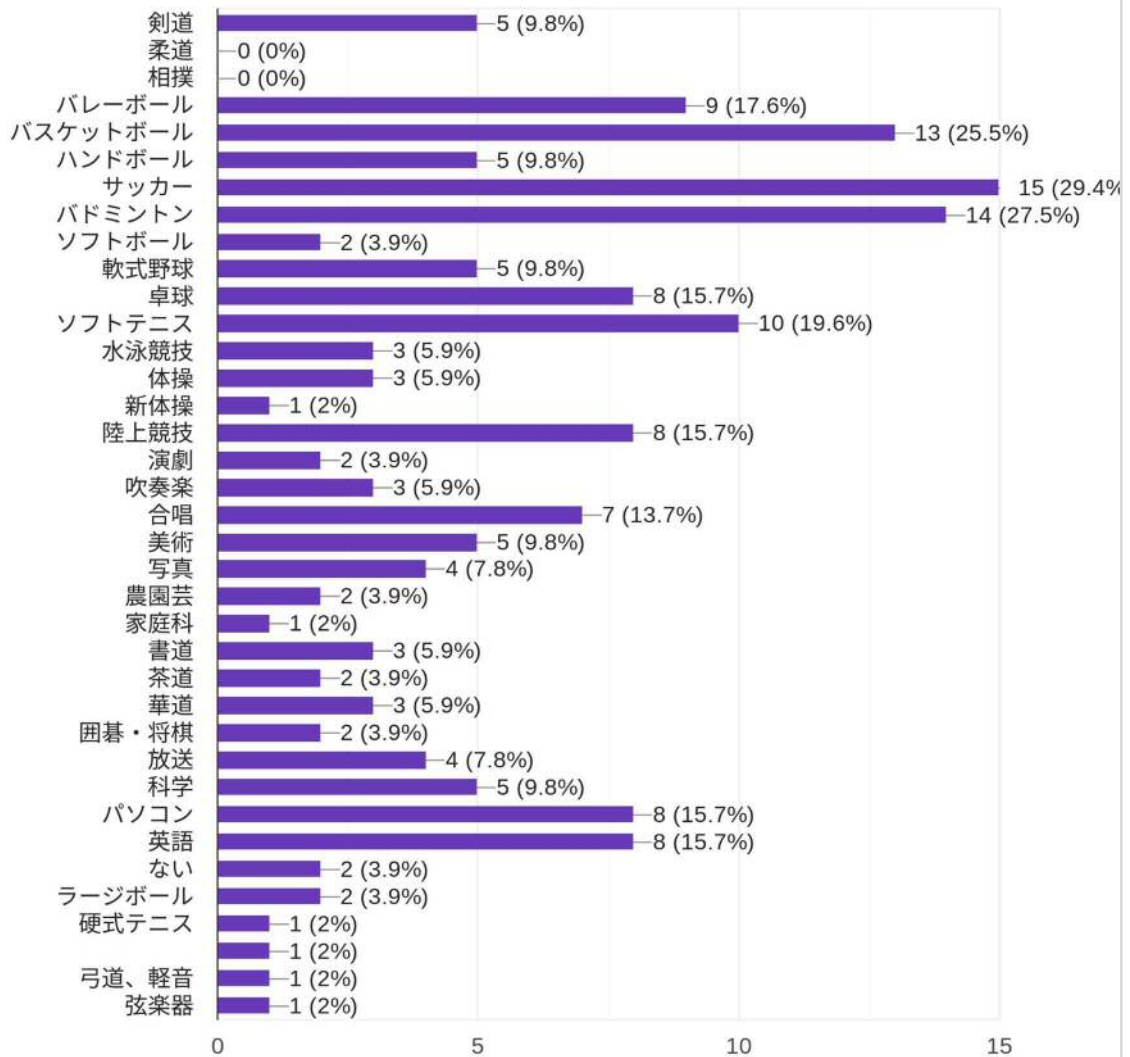
- 時間がかぶらない（2件）
- 両方とも（2件）

質問8 質問7で回答した理由を教えてください。

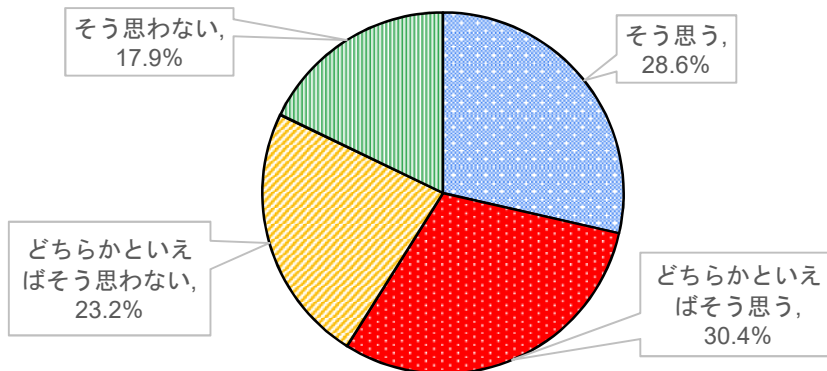
- 学校のほうが近くて行くのが楽だと思うから。
- 友達が多い
- 部活の方が友達と一緒に触れ合うことができ先輩などとも仲良くなれるから
- 学校から帰ったら勉強を進んで取り組みたいから。
- 友達がいて、より楽しく活動できると思ったから。
- 馴染みやすいから
- 部活動の方が友達と協力してやることができる。
- 学校だと行き帰りの時間が楽だから。
- 学校なら友達もいて楽しいし、馴染みやすい
- 卓球が好きでもっとうまくなりたいから。
- 学校のほうが中の良い人もいるし、楽しいと思うから。
- 学校部活動のほうが友達などと打てるし、気軽に話せ、楽しいからです。
- お金を負担したくないから
- 他の予定があったりすると困るから。
- 普段来ている場所で練習するほうが慣れていていいから。
- 仲の良い友達と一緒に楽しく出来るから
- 手軽に学校で実力をあげられるから。
- 塾などでの学習での日程と合わせて活動ができるから
- 学校の方が知り合いや友達が多そうで、学校だったら知り合ったら部活以外の学校の活動でも会えるだろうから
- 時間がかぶらないから
- 部活の方が馴染みやすいから。

- 地域のクラブだと費用がかかったりしますが、学校ならあまり費用を払わずに行うことができるからです
- 今の部活動のほうがやりがいがあるから。
- 学校の方がやりやすいから
- 時間はかぶらない
- 学校のほうがやりやすいから
- 友だちもいるし台でたくさん打てる
- 課題を決めてくれるから
- 部活動のほうが楽しくできる
- 学校部活動のほうが楽しいから。
- 学校部活動は普段授業を教してもらっている先生や学校生活をともにしている友達と一緒に活動することができるから。
- 全員知っている人だから。
- 放課後に活動するため参加しやすい。
- 放課後の流れで参加できるため。
- 部活動の方が学校の他学年や同学年の人と交流する機会が増えていいから
- 学校の人達と一緒に活動したりできて、協調性も学べたり楽しめたりするから。
- 学校行事とかにかぶらないから
- いろんな人とやれるから
- 学校が終わったすぐに活動することができるし、時間を上手く使うことが出来ると思ったから
- 移動が楽
- 色んな技やコツをしっかりと教えてくれそうだったから。
- 学校の部活動ではないなら行かないから。
- よりうまくなりそう
- 専門の人が教えてくれるから。
- 学校以外でも活動することでより強くなることができるから
- 友達がいるから
- 地域クラブも大切だけれど部活は学校関係だからです。
- 勉強と両立できそうだから。
- 良い環境で取り組むことができるから
- 友達と頑張りたいから

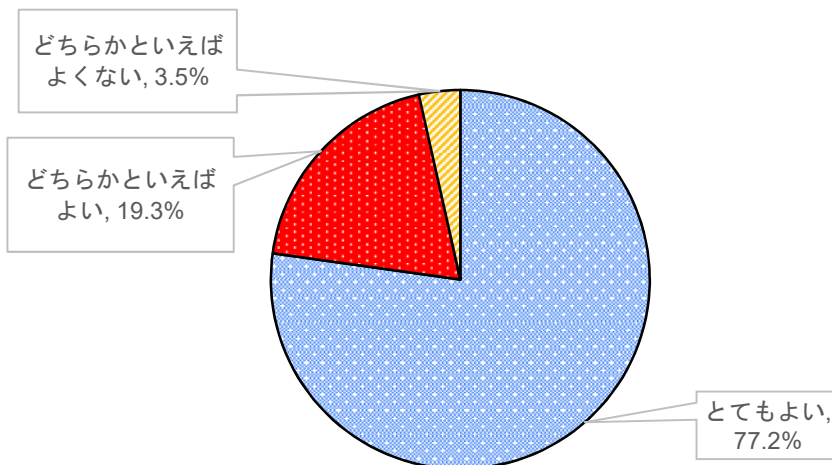
質問9 現在、取り組んでいる種目以外に、どのような種目の活動をやりたいですか。



質問 10 やってみたい種目の活動ができる地域クラブがあれば参加してみたいと思いますか。



質問 11 今年度の休日の部活動に、地域指導者を派遣して指導した取組についてどう思いますか。

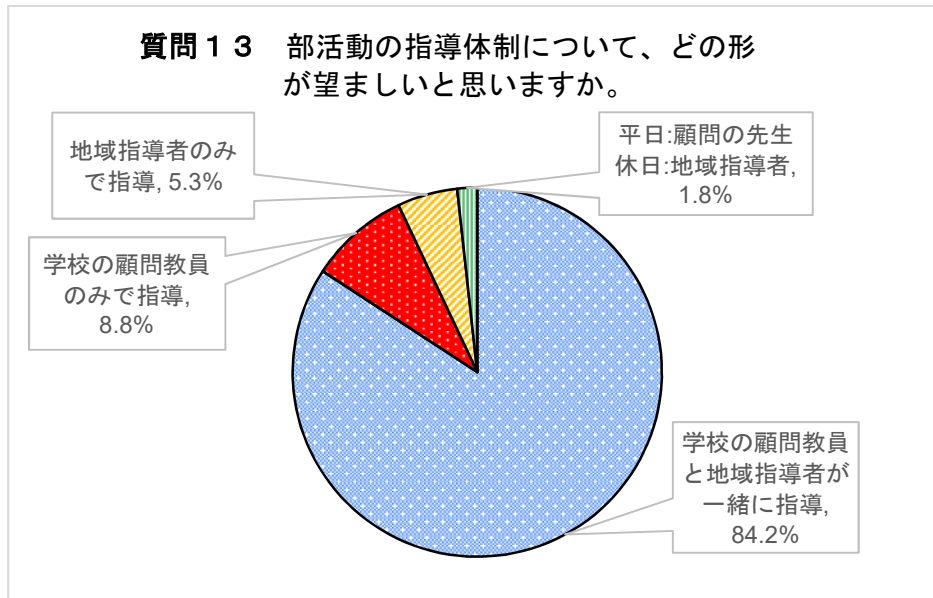


質問 12 質問 11 の回答の理由を教えてください。

- アドバイスがたくさんもらえるから
- アドバイスしてくれるから。
- あまり身につけられないものが身につく。
- いつもの部活動とは違う教え方もあるから
- そのスポーツ（競技）をもっと上達できると思ったから。
- たくさんの技術などを学ぶことができたため
- たくさん学ぶことができるから。
- どんな人でも参加ができるしさらにうまくなれるいいところ
- もっとうまくなれるから
- やはり専門の方が来て指導してくださるので、平日の部活動とはまた違う専門的な知識を取り入れることができ良いと思ったから
- よりその競技が上達できると思ったから。
- わかりやすかった

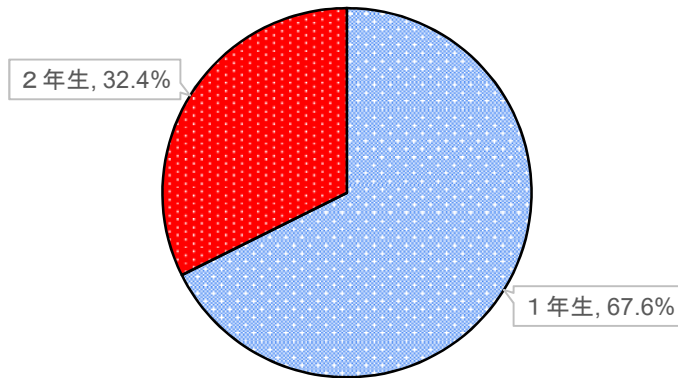
- わかりやすくさらに自分の癖を細かく教えてくれるから
- わかりやすく教えてもらえるから。
- 一つ一つしっかり教えてくれるから
- 一人一人見て、丁寧に説明してくれたりポイントなど教えてくれるから。
- 学校で様々なレベルの高い技術が学べているから
- 学校の先生とはまた違った目線で指導してくれるから
- 学校の先生方の休みの時間が少ないことが問題になっているため、少しでも先生方が休憩出来ることと、地域指導者さん達はそのことに関して沢山の知識があるので生徒視点では顧問の先生の持っていない知識・技能を教えてくれるのでいいと思いました。
- 技術力が向上したから。
- 強い人が教えてくれると自分たちの部活も強くなるから
- 教え方が良くて自分だけではなく部として成長することができるから
- 経験ができるから
- 顧問の先生は忙しいし、先生とは違う視点でみてもらえるから。
- 自分たちと同じ目線で話してくれるから
- 自分のスキルアップのアドバイスをしてくれるから。
- 自分のできていないことについてアドバイスしてくれる。部活の場合、先生が教えてくれるけど、地域指導者の方が専門的なことを教えてくれる。
- 自分の悪い癖などを指摘してくれるから
- 少しずつだけ教えてもらってから上手くなっているから
- 人によって自動の仕方が違ってどれでやればいいのかわからないから
- 正しい技術の向上が見込めるから
- 説明が分かりやすいし良いお手本になっているから。
- 説明の仕方が良かったから
- 先生からでは得られない知識や、教え方が上手で非常にわかりやすかったからです。
- 先生が教えてくれること以外もあるから
- 先生とは違う教え方をしてくれるから。
- 先生の手が届かないところも指導者が増えることによって部活のみんなにも手が届くと思うから
- 先生の数が増えることにより先生から直接指導を受ける人が増えるから
- 先生の数が増えるので、より深く卓球を学べるから。
- 先生一人よりも大人がたくさんいたほうが心強いから。
- 専門の方が教えてくれることによって様々なアドバイスが貰えるし、新しいことを教えてくださるので成長できるから
- 専門的な指導が受けられる
- 専門的な人に教えてもらえるから
- 専門的な知識が覚えられて無駄な練習をしなくてすむから
- 多くのやり方を取り入れることで自分にあったものが見つかるかもしれないから
- 卓球を優しくわかりやすく教えてくれるから
- “単純に、卓球が上手い人が増えるから。
- 卓球は上手い人と打つことで上達できることがあるから”
- 地域の人から、新しいことを教えてもらうこともあるから。
- 地域の人に来るのはいいことだと思ったから
- 地域の人と交流しながら部活動ができるから
- 地域指導者がいることでわかりやすく教えてもらうことができる。

- 地域指導者に教えてもらうことより先生に教えてもらうことの方が多いから
- 地域指導者の方から教わることで得られるものがあったから。
- 普段とは違うことを教えられて上手くなったから
- 部活の中でより深く上手になれると思ったか
- 優しくわかりやすく

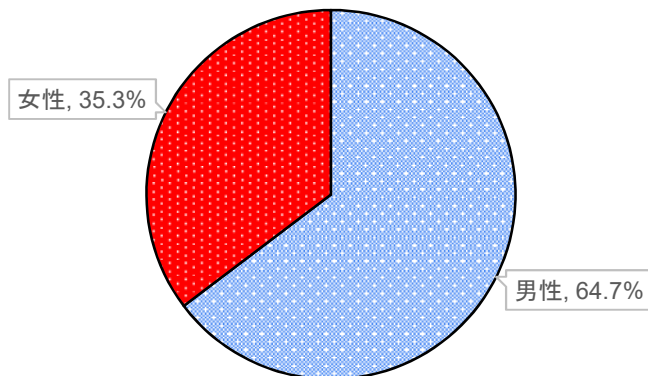


部活動の休日の段階的な地域移行アンケート調査（保護者用）の集計結果

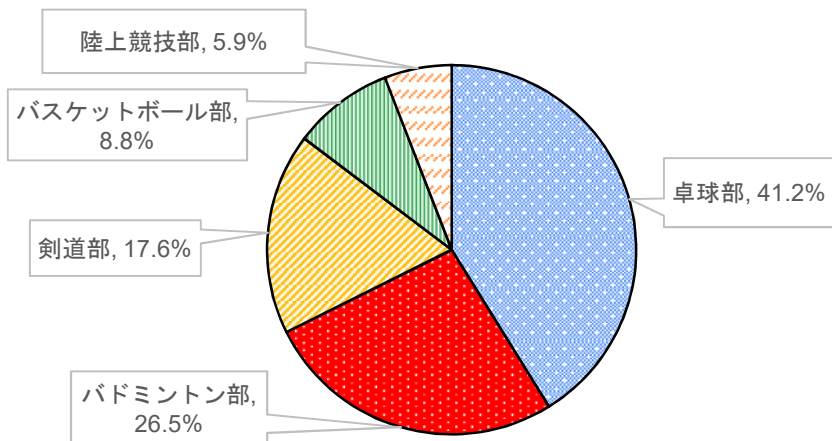
質問 1 お子さんの学年をお答えください。



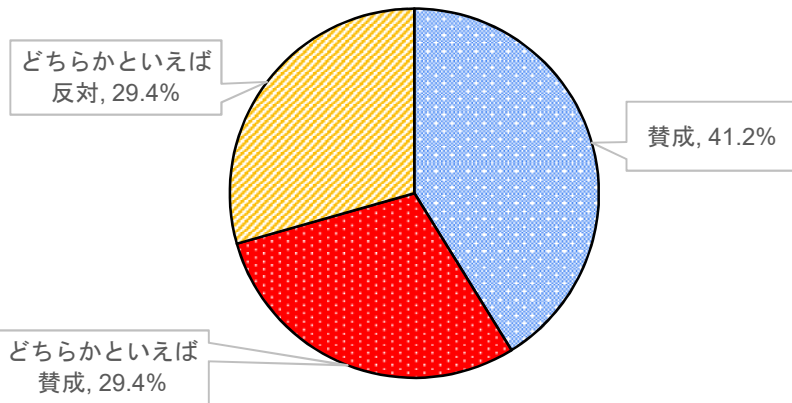
質問 2 お子さんの性別をお答えください。



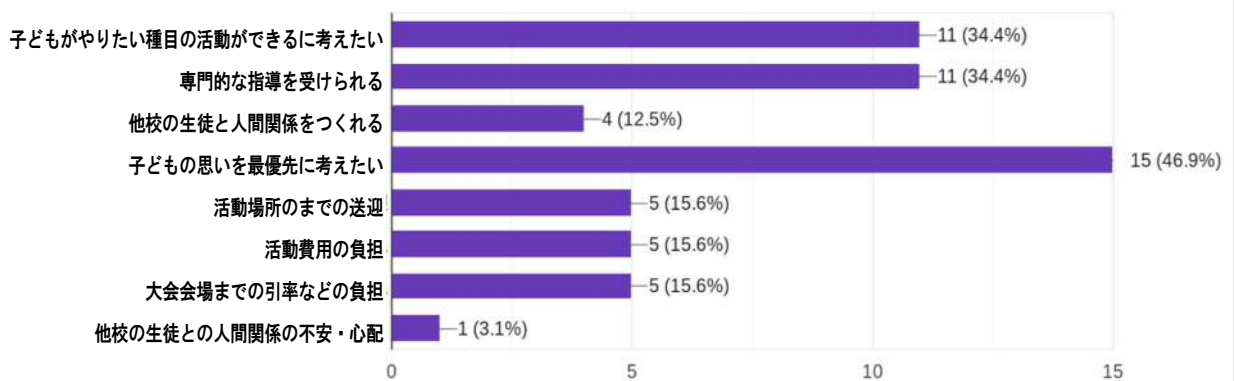
質問 3 お子さんの所属部活動についてお答えください。



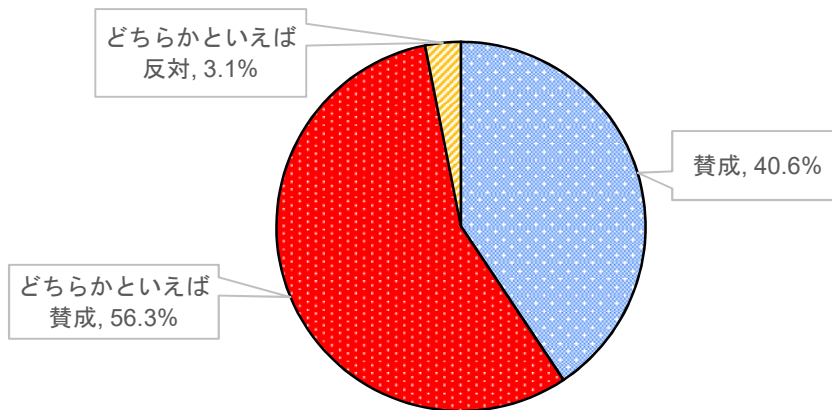
質問4 お子様在学校部活動ではなく、地域クラブに所属することを希望した場合、どう思いますか。



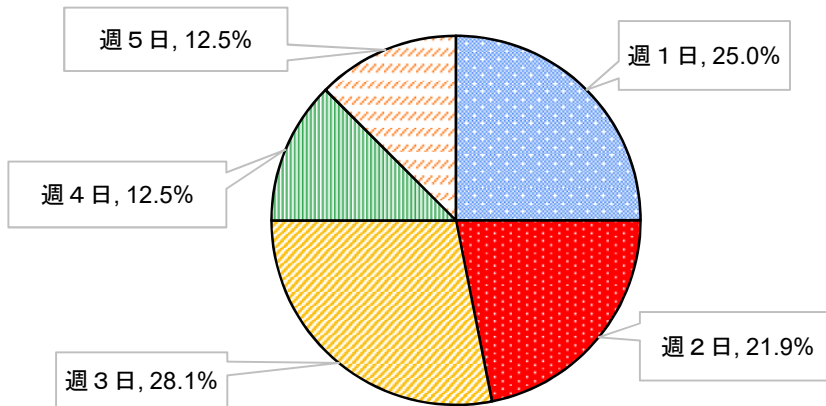
質問5 質問4で「賛成」「どちらかといえば賛成」を選択された理由を教えてください。



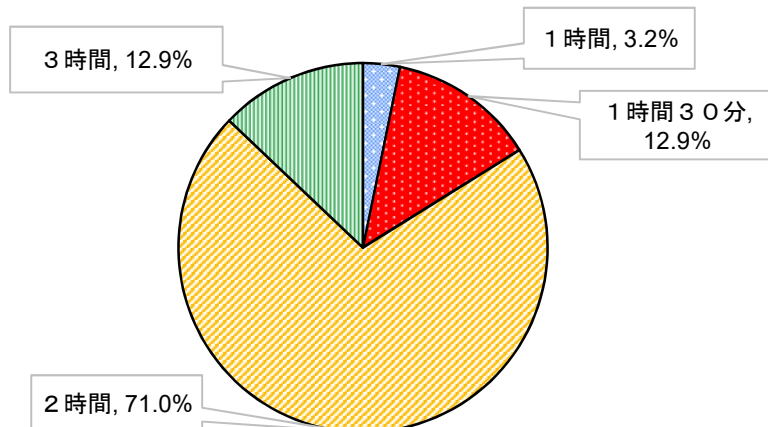
質問6 学校部活動を地域クラブ（教員ではなく地域指導者による）が担うことについてどう思いますか。



質問7 学校部活動を地域クラブが担う場合の希望する活動日数について教えてください。



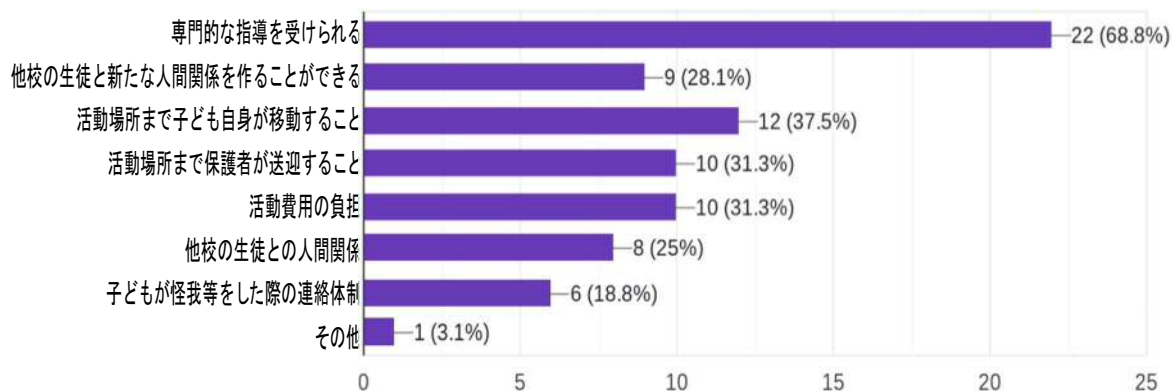
質問8 学校部活動を地域クラブが担う場合の希望する活動時間について教えてください。



質問9 学校部活動を地域クラブが担うことで、参加いただくご家庭の費用負担が発生する場合、毎月の費用負担額はどの程度が適当であるか教えてください。

100円	1件
200円	2件
200～300円	2件
500円	2件
500円～1000円	1件
1000円	7件
1200円程度まで。5000円を超えてくるなら、学校部活動でやらずとも習い事として可能かと。	1件
1,000円～1,500円	1件
2000円	6件
3000円	4件
5000円～10000円以下	1件
適当金額がわかりません	1件
出来れば支払いたくない。	1件

質問10 学校部活動を地域クラブが担うことについて期待されることや心配な点がありましたら教えてください。（複数回答可）

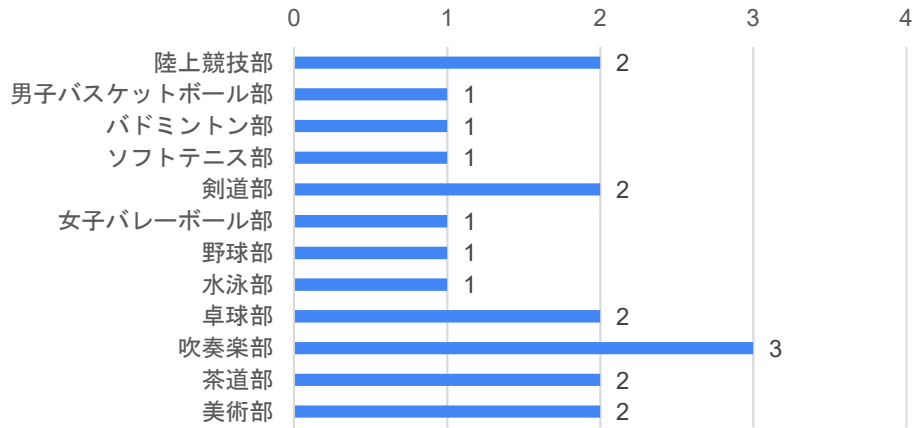


その他の回答

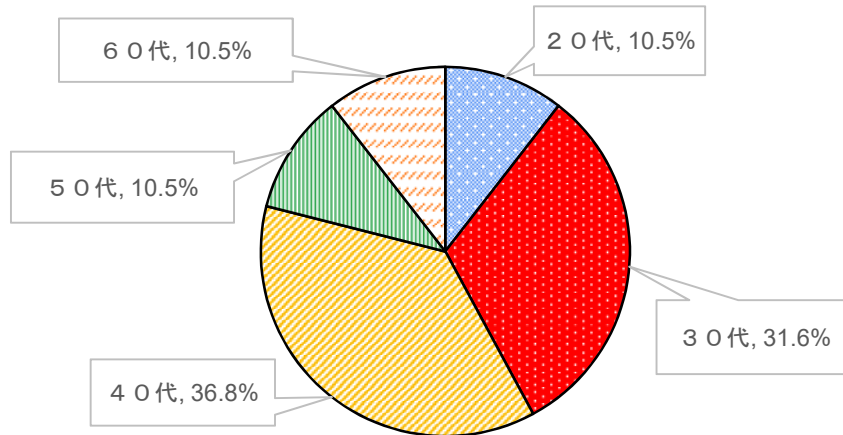
- 先生方の負担が軽くなる事は賛成ですが地域クラブが担うのであれば全て担った方が望ましいです。指導者が複数いると子供も混乱する。モチベーションも下がっている気がします。先生か、地域クラブかできれば統一して指導してもらえることが望ましいと考えています。

地域運動部活動推進事業拠点校の教員アンケート調査の集計結果

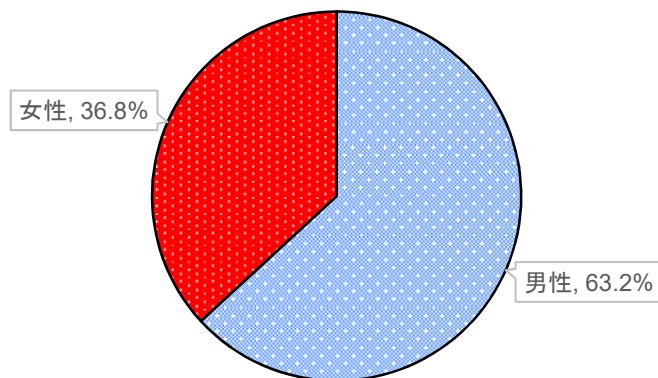
質問 1 担当の部活動を選択してください。（2部活担当している場合複数選択可）



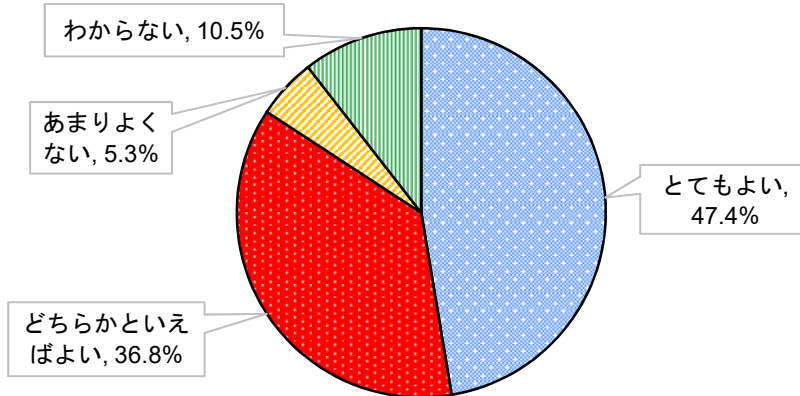
質問 2 あなたの年代をお答えください。



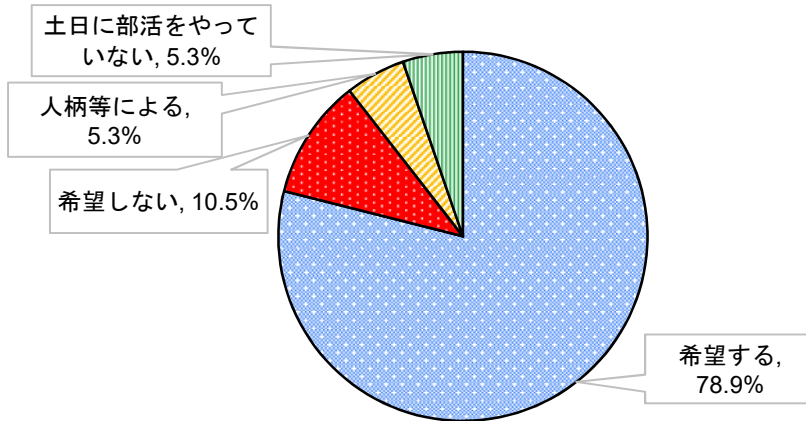
質問 3 あなたの性別をお答えください。



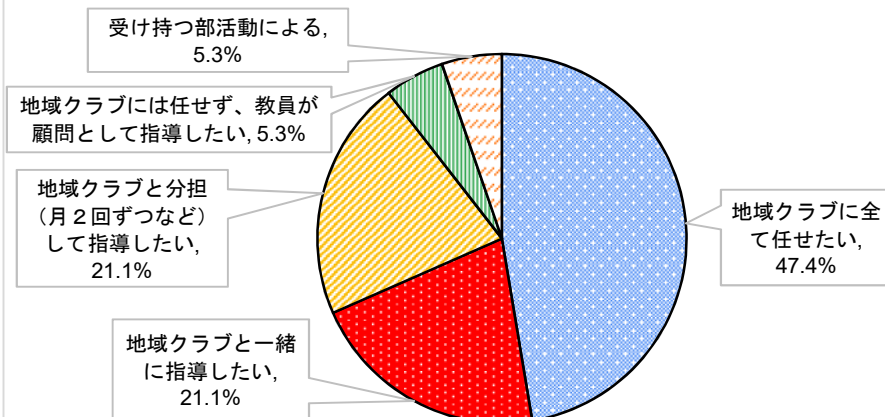
質問4 休日の部活動に地域指導者を派遣して実施した5部活（陸上競技、バスケットボール、バドミントン、卓球、剣道）の実践について、どう思いますか。



質問5 休日に自分の担当する部活動に、地域指導者を派遣してもらえる場合、派遣を希望しますか。



質問6 休日の部活動を地域クラブが指導する、部活動の地域移行が進んだ場合、あなたの考えをお答えください。



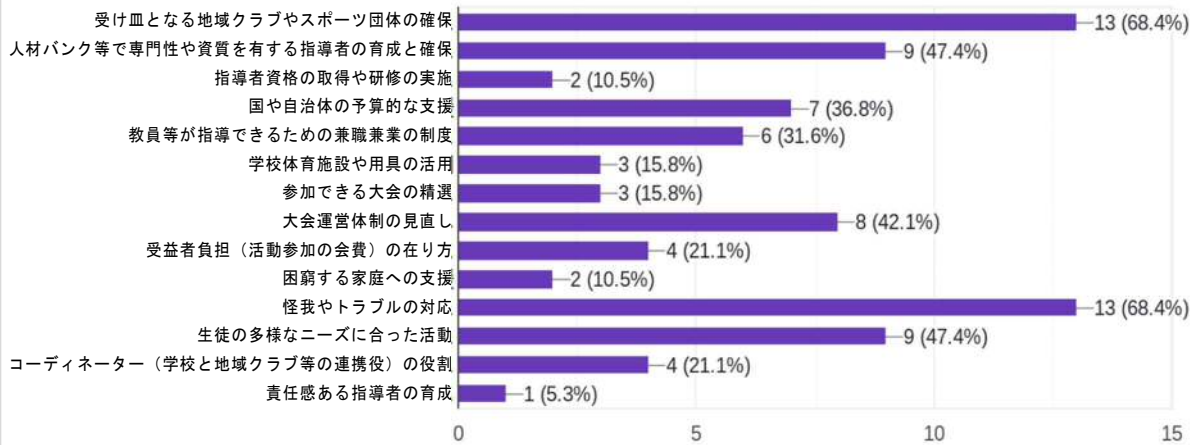
質問7 質問5及び質問6の回答の理由についてお答えください。

- 部活動を通して、努力の仕方、我慢の仕方を指導したいと考えているから。
- 本当は全てお任せするのが負担の軽減につながるが、鍵の管理や子どもの実態に合わせた指導等、段階的に地域への移行を進める必要があると考えるから。
- 土日の部活動について、今後も自分が持続可能な形で継続していくことは体力的にも精神的にも辛いから。
- 休日の部活動指導は負担でしかない。特に、経験のない部活動は苦痛である。また、休日に部活動があるために、日々の業務を先延ばしにして休日に行うなど、働き方改革を行う上でも非効率である。
- 私自身子どもたちと部活を通じて成長していきたい
- 部活動では、同一生徒たちに3年間指導することができるので、生徒の心を成長させる上で、とても貴重な機会であり、自分自身で成長させたい気持ちもありますが、受け持つ種目によっては私自身の力を発揮することは難しい場合もあるので、部活動以外のところに力を注ぎ、専門で指導される方に託した方が、生徒も活動しやすいのではないかと考えるからです。
- 部活動の負担が大きいから。
- 負担軽減。ただ、指導自体は楽しくやれているので、地域と分担して指導したいから。
- 学校において、学習面以外の生徒の良さを認められる場が部活動だと思っている。地域に任せきりになってしまえば、生徒を学習面でしか測れなくなってしまう。断片的な生徒理解しかできなければ、生活指導だけでなく、学習指導においても教員と生徒の信頼関係を築くのが難しい。勉強が大好きな子にとっては認められる場があつて良いかもしれないが、勉強があまり好きでなかったり、苦手についていけなかったりする子にとっては、学校で自分の良さをわかってもらえる理解者を失うことになるからだ。
- 「自分が好きなことを始めたら、生活のあらゆる場面で、きちんとやるべきことをやる。」というトータルでの教育ができてこそ、学校の存在意義があるのであつて、学習面だけで生徒との関わりを終わらせてしまえば、学校も公立学校教員も要らなくなってしまう。つまり「塾」で充分になってしまう。
- 塾での教科学習でよくなってしまうと、国民は、民主的な社会の構成員としての思考力や表現力を失い、点数や偏差値しか気にしない人間になること間違いない。
- 私たちの職業の存続も念頭において、部活動の在り方を考えなければ、持続可能性が損なわれると考える。
- 日本の事情しか知りませんが、教育と放課後の活動は分離したほうが良いと思います。
- 専門外の顧問による指導を3年間継続するよりも、専門の指導を3年間受けることができれば生徒にとってもプラスになると考える。
- 業務改善も徐々に進んでいるとはいえ、教員の仕事量や時間的拘束は、変わっていない。未来を担う教員が働きやすい環境にするためにも、現在進行形で改革を進める。もしくは、大幅に現役職員の意識を変えなければ、少子化や教員になりたいと考えている人が減っている中では、教育界の未来は厳しいと考えます。
- 土日に自分の時間（家族と過ごす、リフレッシュする）がほしい
- 休暇が欲しいです
- 働き方の改革の一環として捉えたいです。休日心身共に休める時間が必要だと思います。
- 指導員の方に専門的なことを教わった方が子供たちも楽しく部活ができると感じる他に、休日休めることがとてもありがたいので派遣を希望します。
- 平日の部活動や学校生活の指導が部活動と関連することがある。練習試合は顧問同士のつながりで組むこともあるので、すべてを委ねるのは難しい。任せられる日があるのは助かるので、分担できるのがいい。
- 派遣された大学生は卓球が上手で、指導は生徒にとってとても有意義でした。しかし、生徒の欠席連絡、鍵の管理、健康上の問題が起きた場合の対処、命を預かる責任など、大学生ではクリアしきれない問題がたくさんあります。地域指導が部活動と完全に別物になれるなら話は別ですが、部活動の延長線上に地域指導があると、何か起こったと

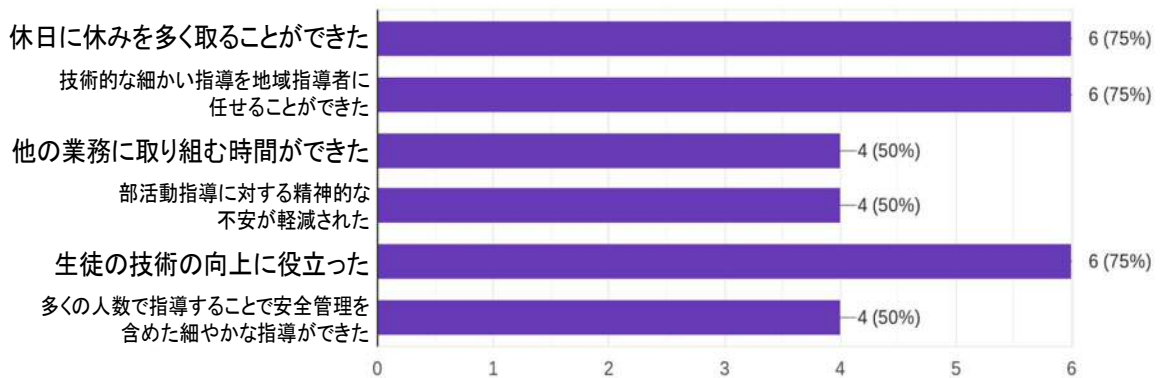
き、保護者はどうしても部活動の責任として捉えます。また、大学生では来られる年数に限りがあり、継続的に指導することも難しいです。現状では、教員と地域クラブと一緒に活動するのがベストであると感じました。

- 指導者が多いと生徒が混乱するから。自分の家庭の時間を大切にしたい。
- 私自身、専門的な知識がないので自分自身も技術を身に着けたい。

質問 8 部活動の地域移行を進めるにあたり、重要だと思われる課題を5つ以内で選択してください。



質問 9 休日の部活動に地域指導者を派遣して実施した5部活（陸上競技、バスケットボール、バドミントン、卓球、剣道）の顧問の方のみお答えください。地域指導者を派遣して得られた効果について、お答えください。（複数回答可）

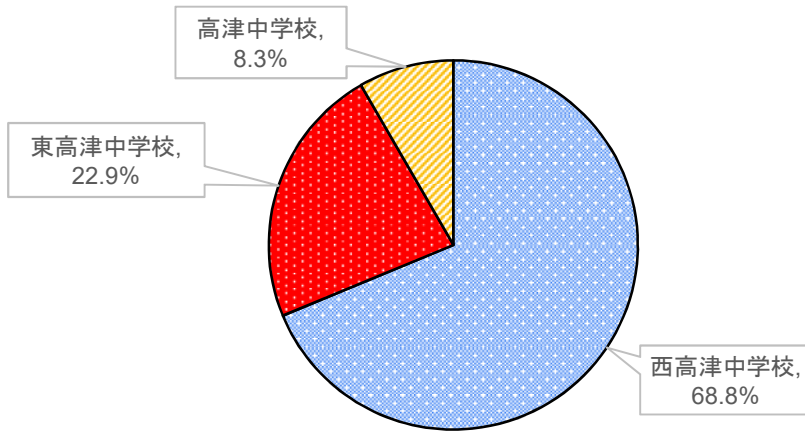


質問 10 部活動の地域移行について、ご意見等ございましたら、自由に記入してください。

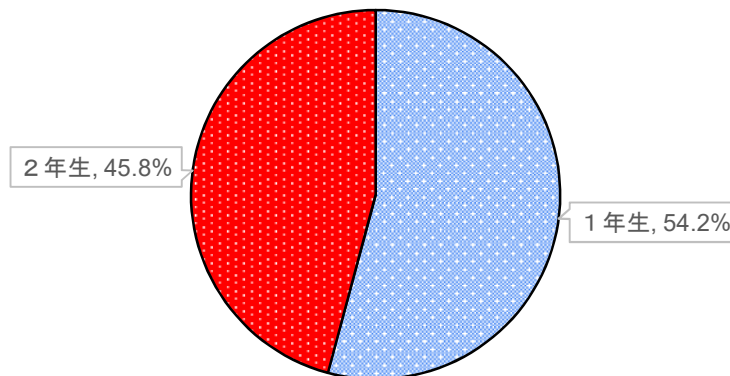
- 完全に実現できるのならば、個人的にはありがたいです。
- 大会の運営も地域に移行していきたい
- 実際に地域移行の取り組みを体験して、指導者の確保を地域スポーツクラブのみで探すのは、厳しいと感じました。また、一般の方（大学生・経験のある退職された方など）の善意や、やる気に任せるのでは、教員の仕事が一般の方に変っただけです。若い世代の社会人を指導者としてお願いする上でも、フレキシブルな働き方やプロ・アマチームで活躍した引退選手のセカンドキャリアの構築が必要だと思います。国や企業が、善意で成り立っている部活動や少年スポーツクラブのシステムごと改革し、「未来の日本を代表する選手の育成」、「目標を定めて努力する生徒の育成」、「運動の楽しさを感じる生徒の育成」を仕事として取り組める枠組みを作らないと、最終的にはさほど変わらないと考えています。
- 現状のように、現場の意見を取り入れながら地域移行を進めていくのは賛成です。学校が閉鎖的にならず、地域に見守られていくことは、大きな意義があると考えます。
- 責任感のある指導者、継続的に指導をしていただける指導者の確保が最大の課題だと感じます。
- 運動部だけでなく、文化部も同様のペースで進めてほしい。
- いきなり100%をおまかせするのは難しいので、段階を踏んでいくことが大切だと思う。

地域運動部活動合同講習会に関するアンケート調査（生徒用）の集計結果

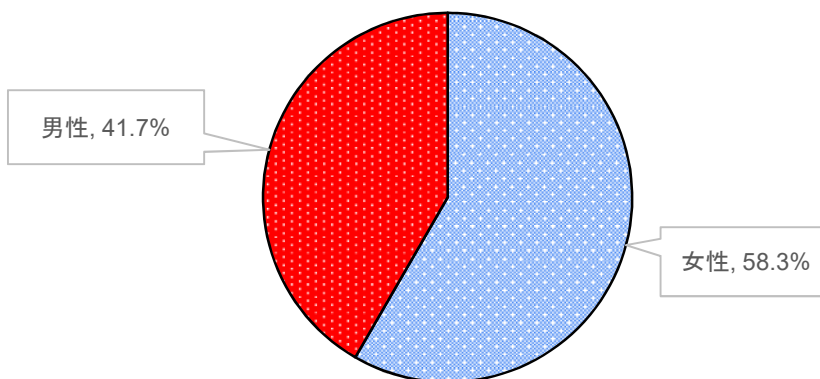
質問 1 所属の学校名をお答えください。



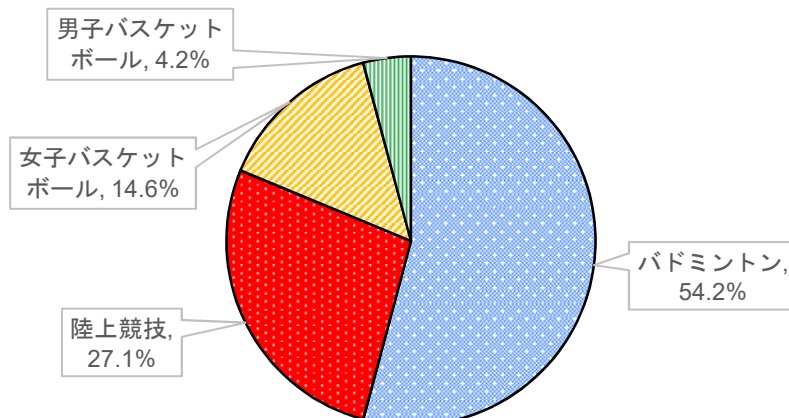
質問 2 学年をお答えください。



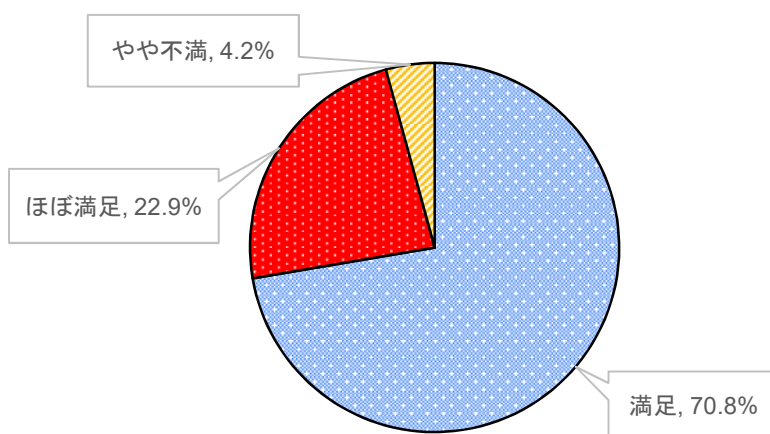
質問 3 性別をお答えください。



質問4 参加種目をお答えください。



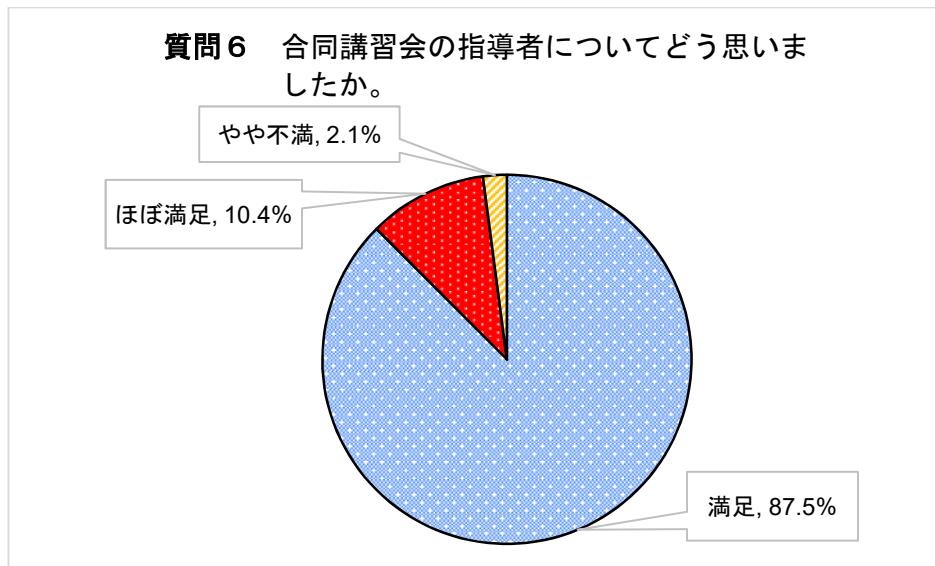
質問5 合同講習会の内容についてどう思いましたか。。



質問5-1 質問5の回答の理由を教えてください。

- 試合や練習で役立つことを知り、それに他の学校の人とも仲良くなれて、先生などとも仲良くなりとても楽しかったからです
- 楽しみながらためになるバスケができたから
- 自分の学校では教えられないことを教えてくれたのが良かった
- 普段自分の中学校ではやっていないメニューをやったり、他の学校の子と戦うことで次の大会の勝つための練習にもなったから。
- 的確なシャトルを出してもらい普段の練習よりも充実していたから。
- また、ノックの際もとても効率が良いと感じた。
- 他にも、ノック練習の前のお手本もとても綺麗で分かりやすかった。
- いい練習の機会になりました
- 他の学校の人とも打ったりできたから
- できなくてやり方を教えてもらいたかったものをちょうど教えてくれて嬉しかったからです。そして楽しかったです。
- 家から遠い、コートが少ない、人が多すぎる
- 基礎的なことをしたので、今までできなかったことができました。

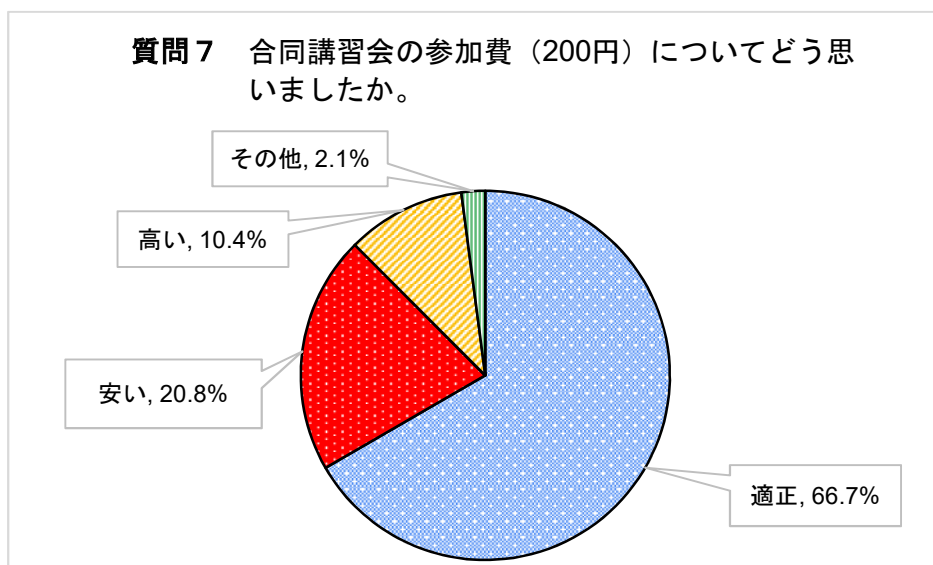
- メニューが少なかったから
- 少しつまらなかった。
- いつもの部活のメンバーだけでなく、他校の人とも走れたからです
- 基礎的な能力を改めて知ることができ、楽しく試合や、練習に取り組めたから
- 私たちの学校にはない新しいドリルを教えてくれたり、走り込みも少し楽しめるように工夫してくれたからです。
- あまり人数がいなく、活気があまりなかったと感じました。
- 普段知れないことを知れて、とても楽しかったから。
- 手厚くやってもらって、楽しかったから
- 他の学校の人と交流を兼ねて練習できたから
- 人数が多いに関わらず何回も打つタイミングがあったから
- 人数が多く、コートでできる範囲が少ないため
- あまりいい練習が出来なかった。
- わからないところを丁寧に教えてくれた、他校との交流があり楽しかった。
- 質の良い練習が出来たから
- 部活ではやらないことやプロの先生に教えてもらうのがいいと思いました
- ちゃんと距離が走れたから。
- 走り込みの本数
- 自分の苦手な所を指導してもらい、上達したから
- 学校の部活と違うことができたから。
- いろんな人と出来て楽しかったから
- 優しく教えてくれてミニゲームをやるととても楽しかった
- 人数が多かったのと、いつもの練習の仕方の違いからなのか、周りが少しうるさいな、と感じてしまった。でも、指導者とかはすごい人たちで普段もらえないアドバイスをもらえたから、満足した。
- 楽しくいろんなことを学べたから
- 必要なドリルなどのコツとかを身につけることが出来たと思うから。
- 技のコツを丁寧に教えてくれたから
- 先生が専門の先生だったし、楽しかった。
- 他の学校のこと一緒に練習できて、いい経験になった。また、
- 他の学校の人ともできたしあんまり習わないことも教えて貰えたからです。
- 滅多にない練習だったので良かったです
- 違う中学校の人とも交流できたから。
- いっぱい練習ができたから
- 回転率の良い球だしや細かい指導を受けることができたから
- メニューがいつもと違うことだったので、普段の部活にも活用していきたいと思った。
- コーチの方にも的確な指導をしていただくことができ他校の生徒の方とも触れ合うことができたからです。



質問6-1 質問6の回答の理由を教えてください。

- しっかり教えてくれていたと思ったから。
- 分からないとこ、難しいところも優しく教えてくれて緊張してたけど先生が面白く楽しくやることが出来たから
- 丁寧に指導してくれたから
- しっかりと見本を見せてコツなどを教えてくれたりしてくれたから
- 適切に丁寧に教えてもらい、やっている最中などもアドバイスをしてもらい分かりやすかった。
- 的確なアドバイスを貰えたから。
- 指導者さんのおかげで少し上手くなった気がします
- アドバイスを細かく教えてくれたから
- 優しくてポイントを分かりやすく教えてくれたからです。
- 教え方が上手いから
- とても教え方がわかりやすく、上手くできない時に来てくれて実際にコーチがやりながら教えてくれたので、できないことができるようになりました。
- 丁寧に教えてくれたから
- 自分のできていないところを教えてくれたり、わかりやすい講習だったからです
- 専門の先生でわかりやすく説明してくれたり体調に合わせてやってくれたから
- 丁寧に教えてくださったから
- 私は足を痛めていてあまりできなかったのですが、その話も聴いてくれたからです。
- 普段から教えてくださっている先生ということもあり、楽しく練習に参加出来たため。
- 丁寧に面白く指導してくださったから。
- 悪い所を指摘してくれたから
- みんな笑顔で印象が良かったから
- わかりやすく楽しく練習できたから
- 全員に対して同じような対応をしているから
- 経歴のある人が4人いたため
- 丁寧に教えてくれた
- 指導の仕方が丁寧だったから
- コーチの多くが実績を持つ人でそのコーチたちは教えるのがうまかったりしたため
- タイムをひっぱってくれたから。
- 丁寧に色々教えてくれたから。
- 自分の苦手な所を指導してもらい、上達したから
- わかりやすく教えてもらえたから。

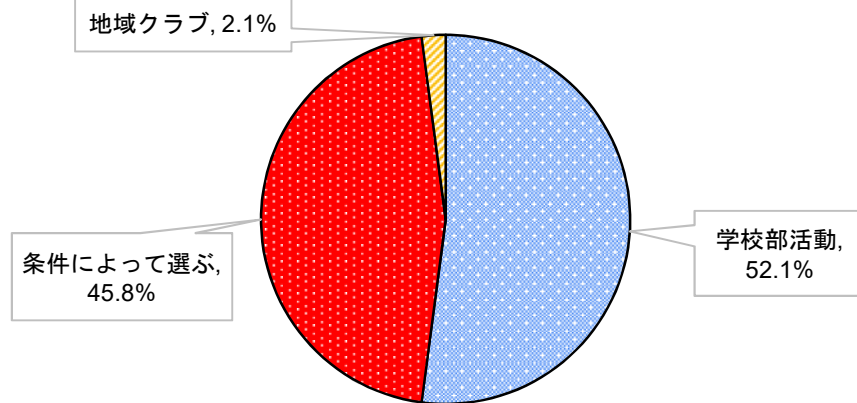
- あんまり教えてくれなかった
- 面白い人たちばかりだった
- 全員すごい人で、今の自分にあつた普段はもらえないような適切なアドバイスをくれたから。
- 分かりやすかったから
- 一人一人にしっかり対応していたから
- 自分の悪いところを指摘して、正しい動き方を教えてくれたから
- いろんなことを教えてくれた
- とても丁寧で、誰にでも気軽に話しかけてくださったから。
- 1つのコートに1人いてきっちり教えて貰えたからです。
- 経験のある指導者さんが来てくださって、分からなかった事などを色々分かりやすく聞く事ができて良かったです
- ドリルなど細かく説明してくれていたから。
- 正確に動きを教えてくれたから
- 結果の残している選手などから指導を受けることができたから
- 教えてくれる人がたくさんいて、ポイントなどを教えてくれてよかった。
- 的確なアドバイスもしていただき優しく楽しく教えていただくことができたから。



その他の回答

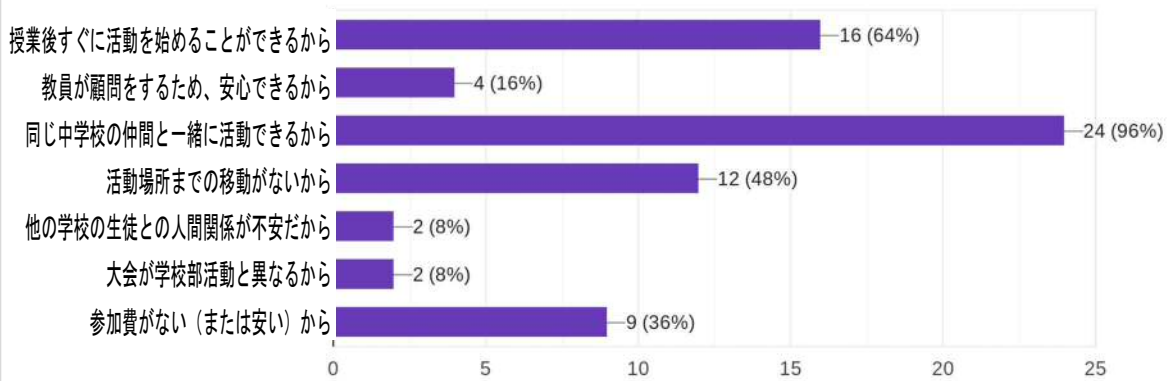
- 適切だと思うけど、200円の使い道を教えてくれないと、少し引かかる。

質問8 現在所属している学校運動部活動と同様の活動ができる地域クラブがあった場合、どちらを選択しますか。（例：学校にバドミントン部があるが、地域にもバドミントンクラブがある場合）



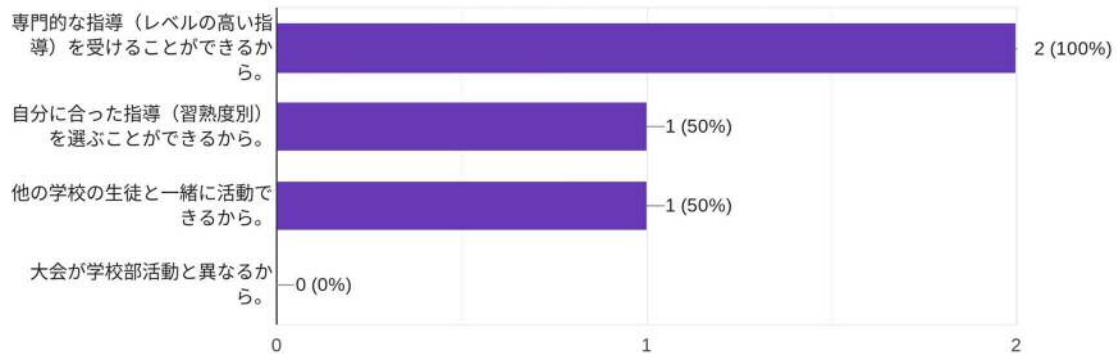
質問8-1 質問8で学校部活動と答えた方は、その理由を教えてください（複数回答可）

25件の回答

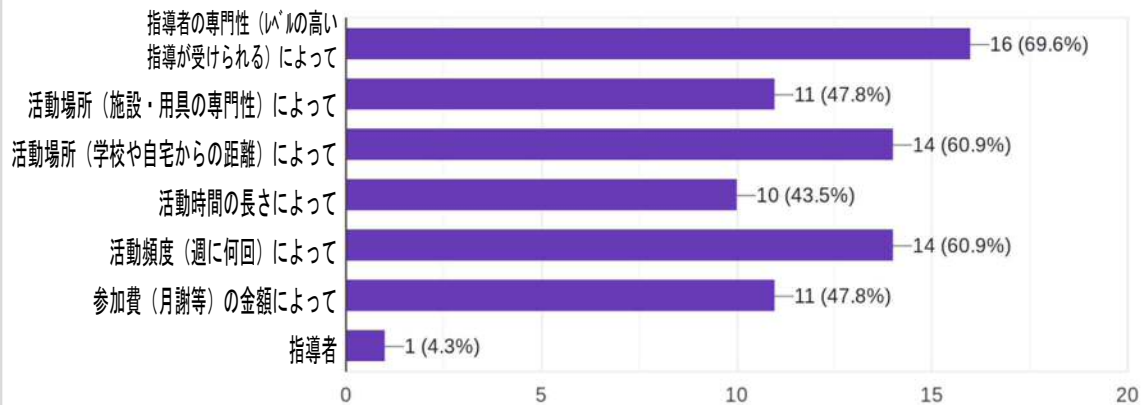


質問8-2 質問8で地域クラブと答えた方は、その理由を教えてください（複数回答可）

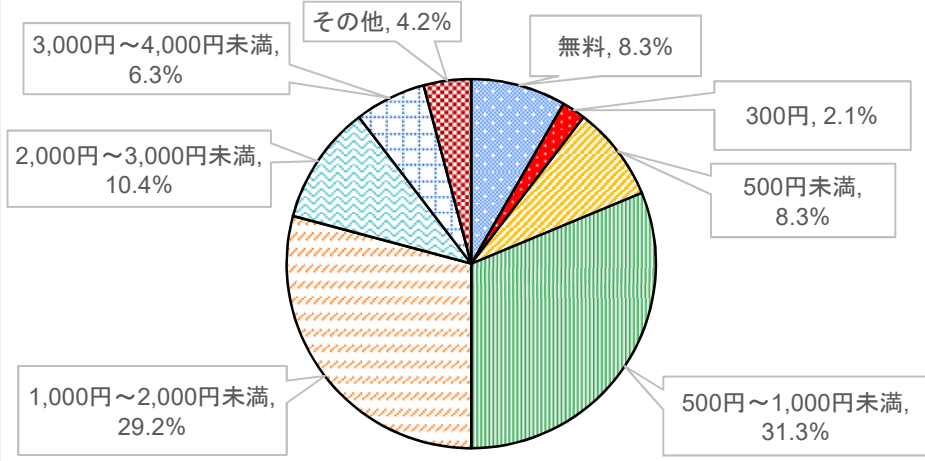
2件の回答



質問8-3 質問8で条件によって選ぶと答えた方は、その条件を教えてください（複数回答可）



質問9 仮に、地域クラブで月4回程度の活動（毎週末土日どちらか1日の活動）に参加した場合、月の参加費（月謝）はいくらが適当だと思いますか。（指導者謝礼、指導者交通費、練習用具、練習場所、保険代、その他事務費用が運営費用として想定されます）

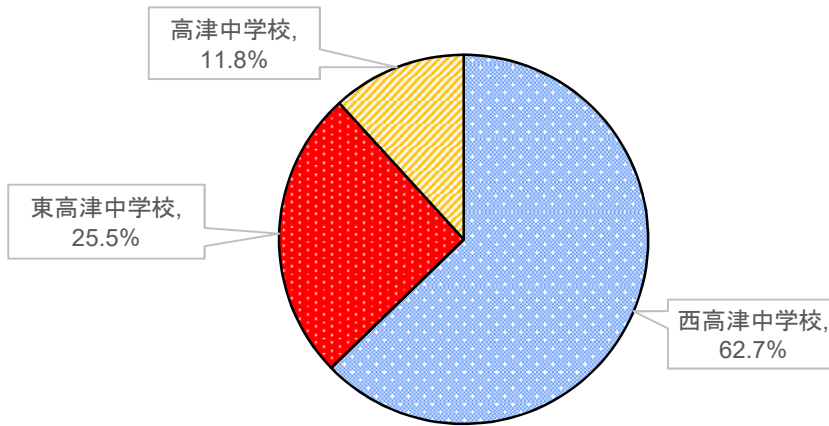


その他の回答

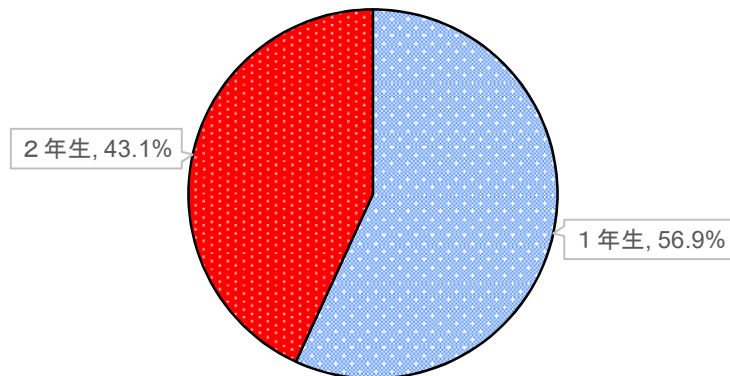
- 子どもには難しい質問だと思う。
- わかりません。

地域運動部活動合同講習会に関するアンケート調査（保護者用）の集計結果

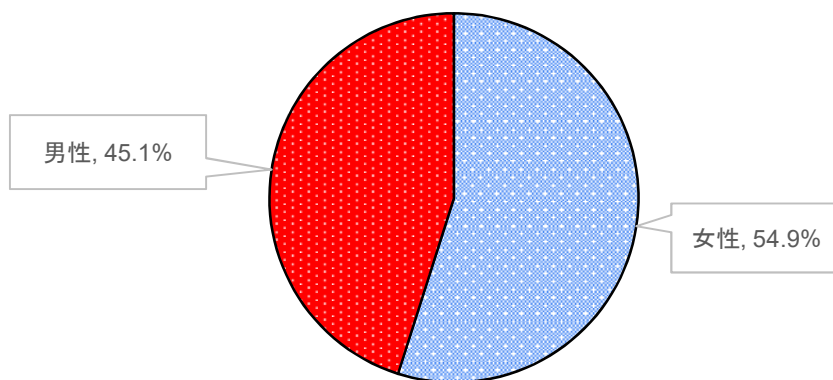
質問1 お子さんの通っている学校名をお答えください。



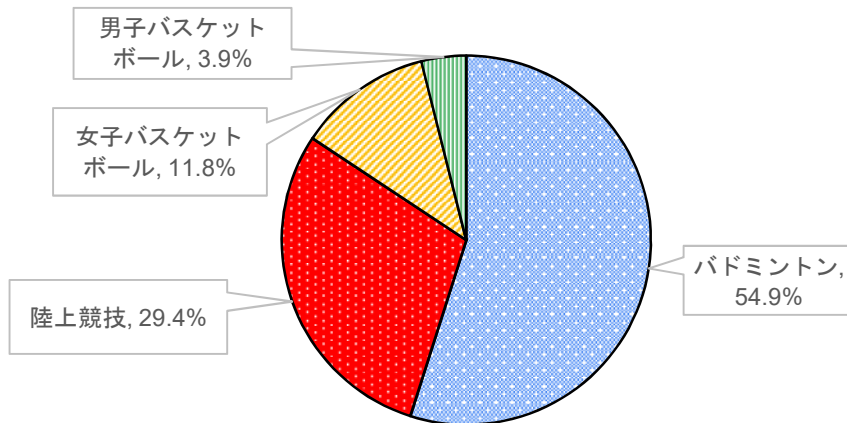
質問2 お子さんの学年をお答えください。



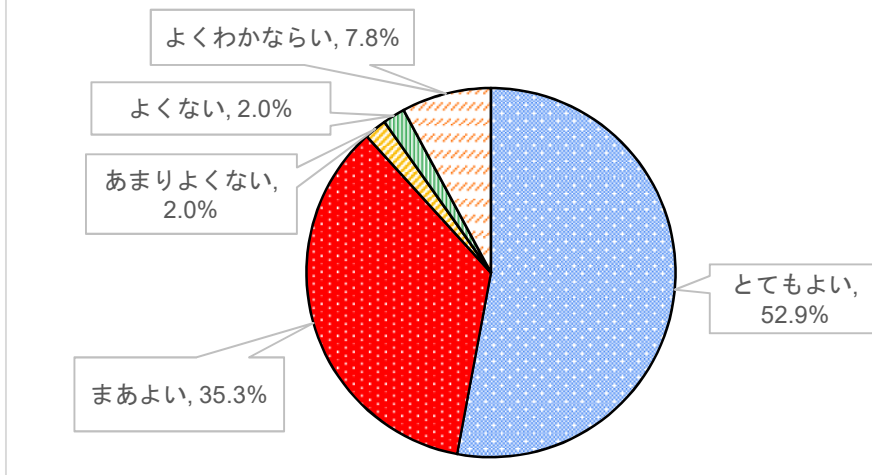
質問3 お子さんの性別をお答えください。



質問4 お子さんの参加種目をお答えください。



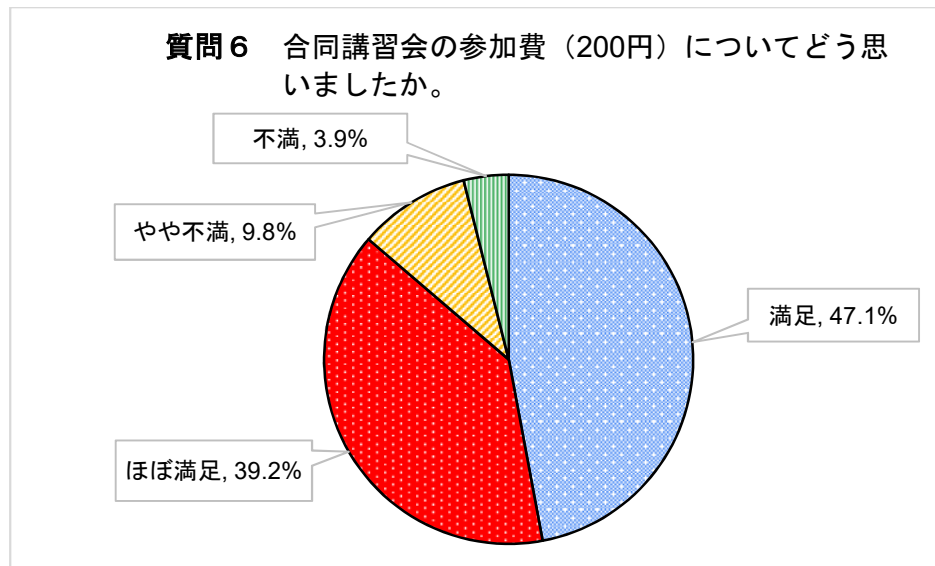
質問5 合同講習会についてどう思いましたか。



質問5-1 質問5の回答の理由を教えてください。

- 初めて参加だったので、どんな事をするかわからなかったですが、子どもから内容を聞いて感じたことは、最後にリレーとか出来たら楽しかったのでは？と思いました。
- 交流の機会が出来良いと思う
- 内容が濃くなかったと聞いてます。もっと選手を巻き込むコーチングに期待します
- 同じ競技をしている人と多く知り合いになれる
- 他の学校と打てるのは良い。
- 人数が多いので打てる時間は少ないのかなとも思いました。
- 多くを吸収できそうだから
- 色々な人と交流できて良い学びや経験になる。
- コーチによって考え方が違うので、選択肢も増え勉強になって良いと思う
- 普段交流のない他校生と触れ合えるから。
- また、上手な人を近くでみて刺激になる。
- 参加人数が多かったから、練習があまり出来ないと子供が言っていた。
- 他校の生徒と一緒に練習することは刺激になると思います
- 地域の交流にもなる。専門性のある方からの指導も魅力的。
- いろんな方(現役や経験者)に教われたり、他の学校の方と交流できるのはいい経験になると思います。

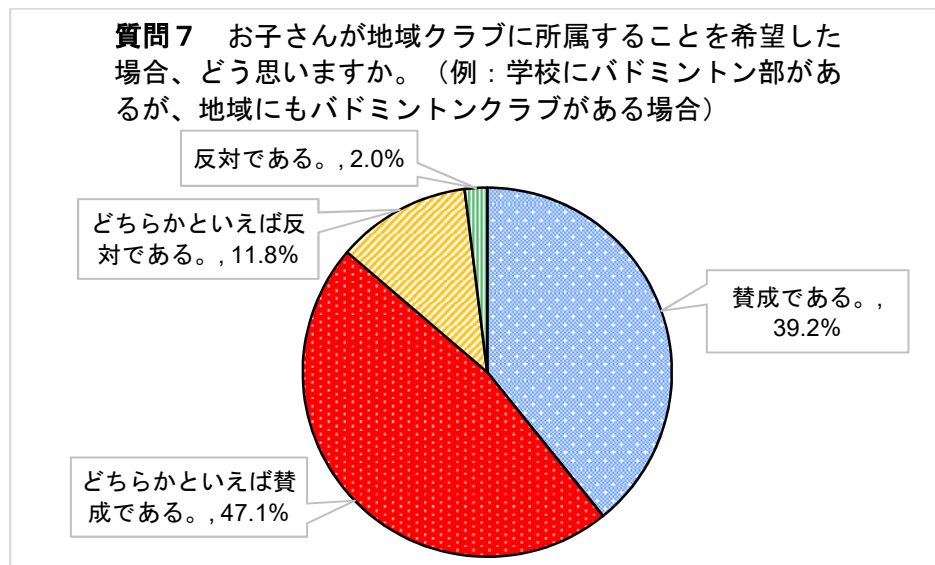
- 楽しかった様子でした
- いつもと違う環境で練習ができて、色々な刺激を受けると思います。
- 他の中学校との交流の機会があまりないから。
- 先生方の負担も減り、十分な指導も受けられてとても良いと思います。
- 子どもの活動が確保され、教員の負担軽減になる。
- 普段、一緒に練習できない人達と練習できるので
- 自分のレベルも知ることができるから。
- 経験者の言葉は、トレーニング内容にしてもけがに関しても納得しやすい
- 色々な先生にご指導頂いたり、違う中学校のお友達と交流するのはとても良いことだと思います。
- 他校との交流で刺激があるから。先生のお休みも確保できるから。
- 他校の生徒と練習することにより良い刺激となり様々な気付きもあると思うのでとても良いと思います
- プロの選手に教えて貰える貴重な機会だと思うから。
- 子供の感想を聞いて
- いろんな人と交流できて刺激になるから
- 子供からは、良いとか悪いとかの感想がありませんでした。
- 他の学校の子との関わりもでき、お互い刺激ももらえそうだから。
- 他校の生徒との関わりが持て、お互い刺激になると思うから。
- 顧問の先生は、体力面、態度面の指導は
- とても良くしていただいています、
- バドミントン経験者ではありません。
- 今回の実技指導で、上達が認められたため定期的に行っていただけたら、ありがたいです。
- 子供が楽しみにしていたから
- 多い人数で競う方が良いから
- 聞いてないため
- 他校との交流は刺激になるから。
- たくさんの生徒がいても1人1人指導してくれたので良いと思います
- 活動を見ていないから
- 違う学校と練習出来るのはよい機会
- 刺激し合える事
- 他の学校と合流でき、さまざまな戦い方を学べるから
- 他の学校との交流があり、良いと思いました。
- 他校との交流をして、練習をすることによって他校との関係が良くなるからです
- 他学校の生徒と合同で練習することはいいことだと思います。ただ、家から遠くなり行き慣れない場所だと心配もあります。
- 違う学校の子の練習を見て刺激を受けられそうだから
- 子どもがうれしそうにいろいろ報告してくれたため



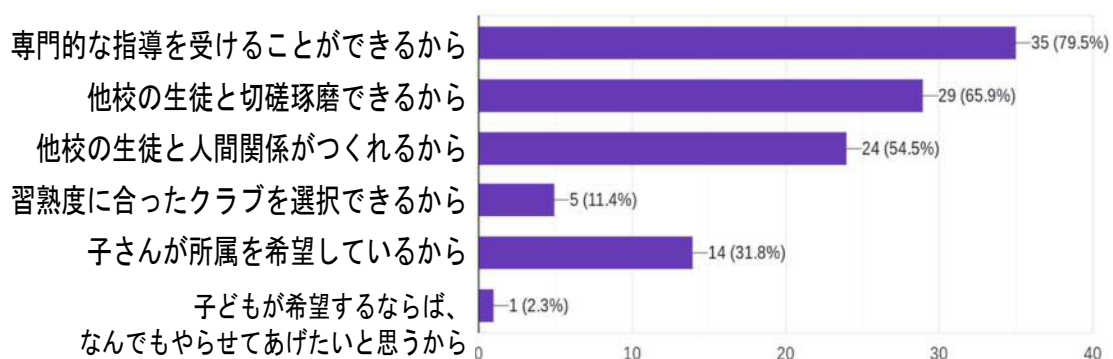
質問6-1 質問6の回答の理由を教えてください。

- 保険も込みなら妥当かと思えます
- 本人が参加してとても満足していたので
- 安くてもお金を取るなら期待値以上のものを提供して欲しい
- 200円位ならあまり負担に思わないから
- 高くない
- 特に問題ないと思う。
- ほどよくありがたい
- 妥当な金額だと思う。
- 高いとは思いません。保険込みなら安いと思えます。
- 部活動の一環なら、無料にしていきたいです。
- 保険に入っているのは安心だから。
- 休日の部活が完全にこれに置き換わり、毎回この値段がかかるのだとしたら、頻度によっては高いと感じるかもしれません。
- 他に交通費がかかっているため。
- 子供が紛失しても気にならない額だから。
- 保険は必要かと
- 休日にわざわざご指導いただいているのにとっても好意的だとも思います。
- 安いので個人的に出すのは問題ないが、市から出るといいと思ったから。
- 費用に比べて得るものがあつたと思います
- お手頃価格だと思ったから。
- 高くないから
- 丁度いいと思うから
- 妥当とおもいました。
- 1回の練習としては払いやすい。
- 1回の練習としては払いやすく妥当と思うから。
- クラブで習う事に比べかなり低費用であり、ありがたいです。
- 手軽だから
- 安いから
- まずは、200円の内訳を知りたい。
- また、部活の延長にある物であれば、自治体でまかなう方法はとれないのか？費用がかかる事で参加を見送る家庭があるかもしれないと思うと、子どもの中での不公平感が生じてしまう事も考えられる気がしました。

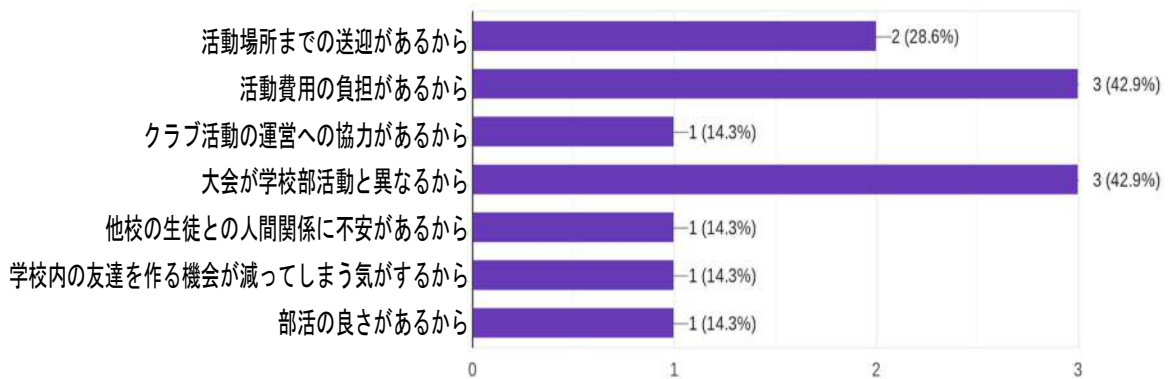
- 負担にならない金額なので良いと思います
- 学校の体育館だから
- 他で習うともっと高いので
- 高くも安くもないちょうど良い値段だったから
- 専門で指導してくれる先生が来ているので納得だと思います。
- 練習代が高すぎても来れなくなってしまうかもしれないので、安定してて良いと思いました
- 部活動であれば、参加費があることに抵抗を感じます。
- 安くて活動できるから
- 保険費を含むので妥当
- 高くないので、200円程度なら払ってもよいと思ったから



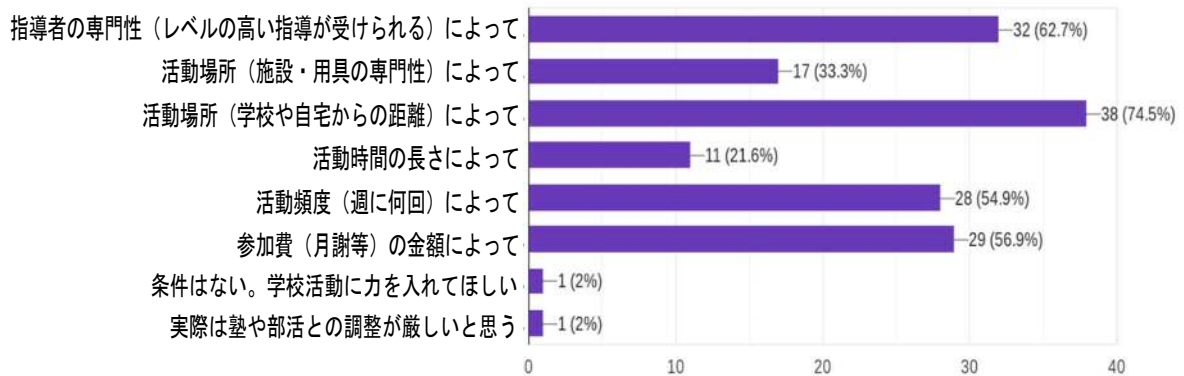
質問7-1 質問7で賛成、どちらかといえば賛成と答えた方は、その理由を教えてください。（複数回答可）



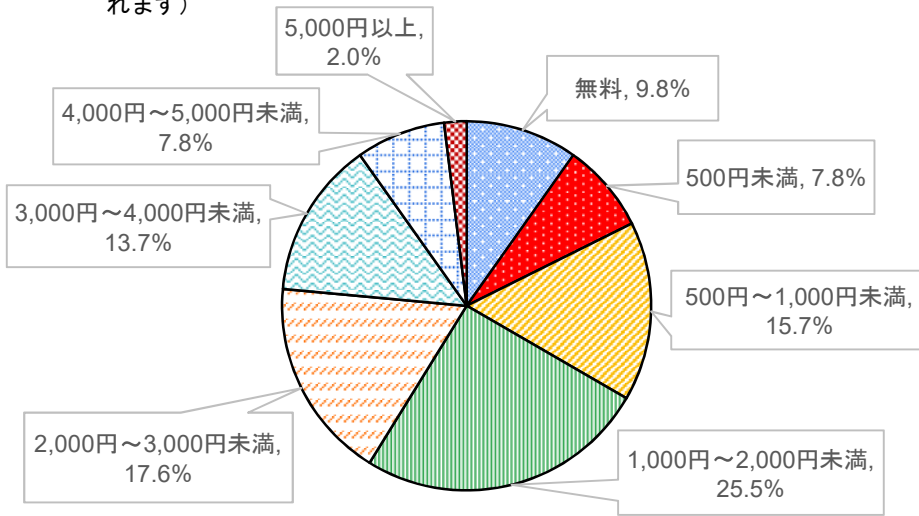
質問 7-2 質問 7 で反対、どちらかといえば反対と答えた方は、その理由を教えてください（複数回答可）



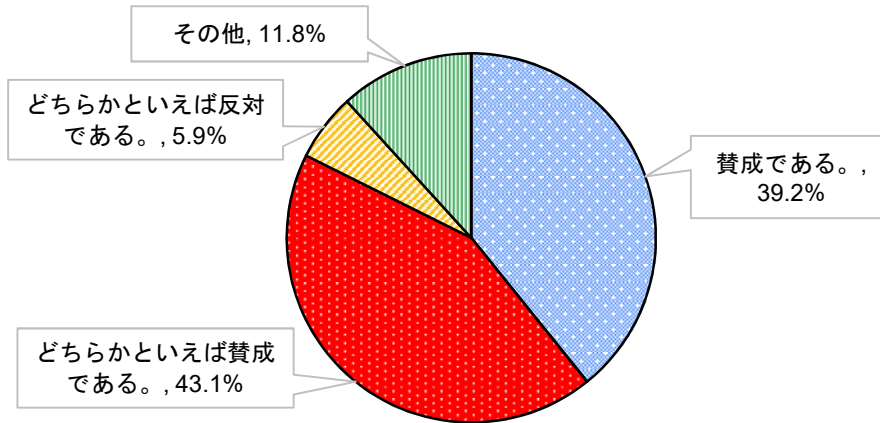
質問 8 仮に、お子さんが地域クラブに参加するとしたら、どのような条件が重要だと思いますか。（複数回答可）



質問 9 仮に、お子さんが地域クラブで月 4 回程度の活動（毎週末土日どちらか 1 日の活動）に参加した場合、月の参加費（月謝）はいくらが適当だと思いますか。（指導者謝礼、指導者交通費、練習用具、練習場所、保険代、その他事務費用が運営費用として想定されます）



質問 10 学校部活動を地域クラブ（地域の指導者や指導を希望する中学教員など）が担うことについてどう思いますか。



その他の回答

- 先生の負担が増えて大変になると感じる
- その場合は所属はどうなるのでしょうか？先生方の負担を減らすという意味では賛成です。同じ中学校内でチームを作ることが重要な気がします。
- 中学校の先生方の部活へのご負担を考えると早期に移行を進めるのが良いと思います。また、うちの子は中学校の部活にないスポーツを一生懸命やっています。現中学の先生方にはご理解頂きありがたいのですが、そのことで試合に出られないなどのことがあるのは、どうなのだろうと思います。中学校の部活の充実は大賛成です。
- 学校の先生の負担が減るのは良いと思うが、学校部活動では発生しない費用がかかると負担になる。
- 月一回程度の単発ではなく定期指導であれば賛成
- 教員の負担が軽減することになるならば賛成。子供のことを考えると、活動場所次第では移動などに時間を取られる可能性を考えると負担かなと思う。